

39th 定時総会 議案書



富山で2度目の開催になる女性経営者全国交流会。
坂東眞理子氏(昭和女子大学総長)が記念講演。



女性経営者全国交流会 第1分科会。
全国から695名が集い、7つの分科会で学び合った。



新たに誕生した射水支部と氷見支部。自社と地域と地域を良くするために共に歩む。

日 時 2018年4月24日(火)

会 場 富山第一ホテル 3階

受付 PM3:30～

第1部 記念講演 PM4:00～

第2部 総 会 PM5:40～

第3部 懇 親 会 PM7:00～

富山市桜木町 10-10
TEL076-442-4411

総会当日には、この議案書をお持ちください。

同友会理念（考え方）

同友会理念とは、

1. 三つの目的、2. 自主・民主・連帯の精神、3. 国民や地域と共に歩む中小企業 の3点です。

1. 三つの目的

①「よい会社」をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強靱な経営体質をつくることをめざします。

②「優れた経営者」になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収しこれからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

③「よい経営環境」をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業を取り巻く、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

2. 自主・民主・連帯の精神

①自主・・・会の主体性を守り、会員の自主性を尊重します。

②民主・・・民主的なものの見方や考え方を、積極的に実践し広めていきます。

③連帯・・・会員同士の腹を割った裸のたすけあいと、あらゆる階層の人たちと手を取りあっていく、外へ向けての協力・連携を進めます。

3. 国民や地域と共に歩む中小企業

①企業活動が、反社会的、反国民的であってはなりません。豊かな国民生活の実現に貢献します。

②中小企業はすぐれた製品やサービスの提供を通じて、人々の暮らしの向上と地域経済の繁栄に尽くし、社会的使命をはたしていきます。

③同友会は、地域経済振興のために活躍することが期待されており、そのことを視野に入れた活動を行います。

21 世紀型中小企業（同友会型企业）とは

①自社の存在意義を改めて問い直すとともに、社会的使命感に燃えて事業活動を行い、国民と地域社会からの信頼や期待に高い水準でこたえられる企業。

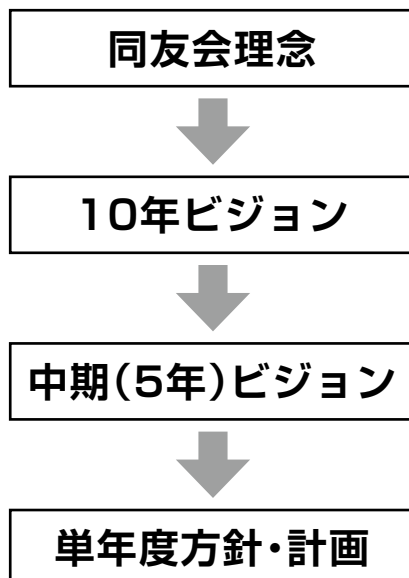
②社員の創意や自主性が十分に発揮できる社風と理念が確立され、労使が共に育ちあい、高まりあいの意欲に燃え、活力に満ちた豊かな人間集団としての企業。

百年企業があふれる富山へ

～地域づくりの本流になろう～

- 一. 「人を生かす経営」の実践で、全会員が黒字を実現している
- 一. 本気で知り合い、学び合い、励まし合う仲間が集っている
- 一. 新しい企業家の誕生や企業家の連携が、地域経済発展の原動力となっている

▼位置づけと関係



2017年度活動を振り返って

はじめに

2017年度は、第6次中期ビジョン（2013年4月～2018年3月）の最終年として、活動スローガン「地域の未来づくりへ挑戦！」を掲げ、以下の9つの課題に取り組みました。

- ①経営指針の実践に踏みだそう ②強みを活かし、新たな仕事づくりを
- ③環境変化に対応した強靱な企業づくりを ④支部会員の絆を強め、切磋琢磨しよう
- ⑤学びあう場を充実させよう ⑥社員と共に成長し、全社一丸となれる企業づくりを
- ⑦強い組織と安定した財政基盤を ⑧新たな産業の創造で、元気な地域をつくろう
- ⑨全ての市町村で中小企業振興基本条例の制定を

大きな特徴は、全国大会の実施と新支部の設立です。

●第20回女性経営者全国交流会は、以下の通りまとめられます。

- ・分科会での学びを一番大切にすることを申し合わせ、グループ長研修やおもてなし講座などを開催しました。多くの男性会員の協力で、経営者として人間として女性の感性や多様性をいかした働き方や活動のあり方を理解し合うきっかけになりました。日常活動も進めながらの取り組みが成果につながったという経験は、次のステップに必ずつながるはずです。

全国でのPR活動では、富山同友会及び女性部活動の歴史の重さと、女全交を2回会全体で取り組んだ富山同友会の連帯感を実感しました。女性部だけでなく会として貴重な経験となりました。

＜学び・気づき・教訓＞

- ・参加は目標を大きく上回り、参加者から満足の声をいただき、男性会員の協力で富山同友会が一体になれたが、女性部や女性会員が少ないため支部での浸透が十分にできなかった。
- ・多方面からの来賓の参加で、富山同友会への関心と認知度が上がった。
- ・分科会運営に関わることで、テーマを深める・グループ討論の意義や質・異業種の集まる意義・人を活かすとは？など、自社経営や同友会運動を考える機会として多くの学びがあった。しかし、全体を俯瞰してフォローする配慮に欠け、討論の深まりに差があったのは課題。
- ・懇親会は、担当メンバーの主体的な行動でおもてなしにつながったが、予想以上の参加者増で富山の男性会員が別会場になったのは残念だった。
- ・記念講演は、講演が予定より早く終了したが、坂東先生に書籍サイン（完売）と記念撮影に丁寧に応じていただき、参加者の満足度は高かった。
- ・物産展は、会場スペースと時間の都合で11社と規模は小さかったが、富山の特産を知っていた多く機会となった。
- ・企業見学をポイントにしたオプションツアー（日帰り2コース）は、早い段階で定員に達し交流も進んだ。

- 10年ぶりに9/10氷見と9/23射水に2つの新支部が設立し、7支部体制となりました。両支部とも行政区を対象のため地域の特色を生かした設立総会には、行政・他団体・金融機関のみなさんや他支部からの多数の参加をいただきました。同友会での学びと実践が自社の成長と地域の活性化に密接につながるという視点で、今後の展開が期待されます。

この一年間の活動を部署ごとに振り返ってみます。

〔1〕より深く、より広く学べる全県行事を振り返って

全県行事には、①支部・委員会・部会の活動の到達点や成果を集め、さらに大きな流れに強めて各活動へ還元する ②全会員が交流して、支部・委員会・部会ではできないスケールと広い視野から学ぶ場 という役割があります。今年度取り組んだ、全県行事を振り返ってみます。

□第28回経営研究フォーラム

『これからの中小企業の経営戦略と、金融機関の役割』をテーマに、山口義行氏(立教大学名誉教授)を講師に迎え、2018年3月2日(金)とやま自遊館で、ゲスト3名金融機関11名を含む計130名の参加で開催しました。

1. 講演は、隣接異業種の話などわかりやすくもう一度聞きたいという声も多く、アンケートの「大変よかった」が80%を越え、近年最高レベルでした。
2. 運営に大きなトラブルはありませんでしたが、グループ討論が短いという指摘が多く課題です。グループ討論の発表では、初の試みとして、包括連携協定を結んでいる3金融機関の方に発表していただき、よかったと思います。
3. 実行委員会は、昨年2月にスタートし、8回開催しました。第27回フォーラム総括を受けて、年明け3月開催、分科会をせずに記念講演+グループ討論のみでやることになりました。又、報告テーマから県内金融機関に案内した結果、6行11名に参加いただきました。テーブルに入っていた金融機関から「経営者の意識の高さに正直、ビックリしました。」とのご意見もあり成果と言えます。
4. フォーラムの位置づけは“学びの集大成”です。その意味では支部例会ではなかなか来ていただけない報告者(講師)をお招きできたことは、良かったと思います。実行委員会では、分科会なしでもいいという意見が多かったものの、分科会の実施については課題として残りました。



第28回経営研究フォーラム

□新春のつどい

「共に煌めくななつ星」をテーマに、2018年1月27日（土）ホテルグランテラス富山にて221名の参加で開催しました。

1. 昨年9月に誕生した氷見・射水支部が加わり7支部が初めて集結する節目の新春として、同友会の原点～お互いを“深く”知り・かわり合う～との思いで「新会員を主役に！」を基本に支部役員・実行委員で新会員を訪問して親交を深めました。

2. 良かった点

- ・新会員の会社訪問やムービー作成などハードルが高い事に、各支部が真剣に取り組みました。
- ・実行委員会の出席率や団結力が高かった。大雪の影響で遅刻や欠席が出る事態にも、実行委員が連携し冷静に対処でき、スケジュールもスムーズに進行できました。
- ・来賓の皆さんからは「素晴らしいパーティーだ」とうれしい言葉をいただき、参加者すべての人が笑顔で帰られたことは実行委員にとって、何よりの評価でした。
- ・成功は、実行委員会を陰で支えてもらった事務局のおかげも大きかったです。

3. 課題

- ・第1回実行委員会で目的やイメージのすり合わせが必要、当日は一つのテーブルに固めた方が動きやすかったようです。
- ・新会員紹介時の声が聞こえづらかった。乾杯後すぐに少し硬かったとの声もありました。
- ・料理の残りが多かった。食べ切りタイムや、来賓の食事は取り分けするなどの工夫も必要。



2018 新春のつどい

□とやま夢づくりフェスタ

実行委員会は、2017年3月からスタートし、12月9～10日（土日）に開催しました。

1. 内容：企業間での新しい仕事づくり、未来を担う子供達に地元中小企業をみていただき、地域づくりや未来づくりに貢献したいとの思いで進めました。

後援：富山県・富山県教育委員会・高岡市・射水市・氷見市・砺波市・小矢部市・南砺市・日本政策金融公庫（富山・高岡）・北陸銀行・富山県信用組合

チラシ配布：約3万枚（高岡市小中学校、高校・各種経済団体・金融機関）

来場者：9日 3,100 + 10日 2,950 = のべ 6,050 名、出展者数 104 ブース（内 11 ゲスト）

当日入会：1社

取材：北日本新聞・富山新聞・北陸中日新聞・NHK富山放送局・北日本放送

2. まとめ：昨年に引き続き2回目のフェスタは、1回目の反省を踏まえ素晴らしい学びの場になりました。新しい取組の企業マッチングは、進み具合に課題は残りましたが、地域・未来づくりにトライした体験ブースは非常に好評で、子供達の笑顔をたくさん見る事ができました。さらに、同友会活動を知って頂き入会に繋がりました。

入場者は、約3,000名と想定されますが、同友会全県行事でこれほど会外に焦点をあてたものではなく、将来的に仲間づくり・共同求人・社員教育委員会も巻き込んでのイベントになればと思います。同友会は自社の事ばかりではなく、地域・未来に貢献している団体だと知ってもらえるべきではないでしょうか。

〔2〕経営と会の課題を総合的に進める、支部活動を振り返って

各支部の活動の特徴は、以下の通りです。（内容詳細は活動日誌参照）

<城南支部>

スローガン		自社の経営に生かせる学びをし、そして動く！	
		前進した点	残った(or新たな)課題
よい会社をつくらう	①経営指針の実践に踏みだそう	・100年の人生が徐々に近づいてきていることにまだまだ実感できない現実はあるが、定年した後の人生をどう生きるかは現実問題です。人生と会社の10年ビジョンを考える良い機会になった。	・10年ビジョンに向けた日々の取組を戦略化することが難しい。10年ビジョンの具体性や描き方に慣れていく必要がある。
	②強みを活かし、新たな仕事づくりを	・参考図書を利用したり、読んだりすることが増えたことは、経営者にとって大切なことです。	・経営者に留まらず、社内でも広めていけると良いです。
	③環境変化に対応した強靱な企業づくりを	・良い会社を目指す前に、普通の会社にチャレンジする取り組みが始まりました。就業規則や退職金制度の見直しをすることで、社員の待遇改善に繋がります。	・取り組んだ会社を見習い、多くの会員に波及することが大切です。取組や変化を報告する機会が必要です。
優れた経営者になろう	④支部会員の絆を強め、切磋琢磨しよう	・登山やゴルフを通じてその方の人となりが見えたのは良かった。更なる信頼へ繋がることを期待します。	・クラウドは一旦は立ち上がったものの、継続できませんでした。その会社の状況や問題点がタイムリーに見えるので復活も有りでしょう。
	⑤学びあう場を充実させよう	・幹事会やグループ会での経営環境レポートの発表を定期的にできたことは評価に値します。参加者全員の発言で、その中で会社の課題を浮き彫りにできたことも良かった点です。	・四役会の中では役員の企業訪問をしました。が、今後は小グループでの企業訪問は必要でしょう。会社を生で見ることは大切です。
	⑥社員と共に成長し、全社一丸となれる企業づくりを	・3年後のビジョンでは通用しないことがわかり、10年ビジョンを描くようになってきました。社員主導の会社づくりが進むように意識できる会社が増えました。	・各社がこぞって、社員と一緒に会活動に参加できる雰囲気づくりが必要です。また、そのようにできる活動も今後は必要でしょう。
よい経営環境をつくらう	⑦強い組織と安定した財政基盤を	・3グループ合同で事業継承の例会を行い、多くの会員に血の繋がりを、心のつながりについて考えてもらう機会を作りました。その例会で1名の入会者が出たことは嬉しいことです。	・他支部の参加者に助けられました。城南だけの参加者はまだまだ増やせる可能性があります。
	⑧新たな産業の創造で、元気な地域をつくらう	・グループ会での取り組みにはまだ高いハードルがありますが、フェスタへの10社以上の参加では成果がありました。来年も自社PRの場として活用できればと考えます。	・グループ会での規模では盛り上がりには欠けるので、フェスタへの積極的参加を期待します。
	⑨全ての市町村で中小企業振興基本条例の制定を	・金融機関からの事例報告で、多くを学びました。社会情勢が変化の中で、金融機関との関係性を密にすることが求められます。また、自社の独自性を明確にする必要も確認しました。	・社会情勢や金融機関の事情を知ることが求められます。社会の学びを増やすことが一層求められます。
その他	⑩独自の取り組み	・経営環境レポートの重要性を感じた1年でした。後は実践に結びつけ成果を出すことが大切です。	・6月の女全交では富山に居ながらにして学ぶことができました。しかし、県外へ出向いての学びはもっと学べます。多くの会員さんが年に1度は全国大会へ参加することを期待します。

<城北支部>

スローガン		仲間の夢を応援し合い、日本一つながりの強い支部にしよう！	
		前進した点	残った(or新たな)課題
よい会社をつくらう	①経営指針の実践に踏みだそう	中曽根さんの報告で支部例会を開催し理念経営実践について学んだ。	会員同士の会話に、理念経営について語り合うくらいの雰囲気をつくりたい。
	②強みを活かし、新たな仕事づくりを	新春のつどいのテーマをきっかけにして、新入会員の会社訪問をした。	会社訪問は必要、大切なことだという意見は以前からあったが、実際参加する会員は少数だった。
	③環境変化に対応した強靱な企業づくりを	経営環境レポートを書こうという機運は高まった。	実際に関わって作成する人を増やすことができなかった。
優れた経営者になろう	④支部会員の絆を強め、切磋琢磨しよう	ジャム自体は認知も広がり、定着した。	参加者が固定化しつつある。
	⑤学びあう場を充実させよう	委員会活動に関わる人が増えた。	委員会が支部と繋がっていないことが、明らかになった。今後活動が、支部にどう伝わるようにするかが課題。
	⑥社員と共に成長し、全社一丸となれる企業づくりを	雑学探求会に社員が複数名参加された。また、会社訪問時に、社員の声や要望を聞くことができた。	この取り組みをもっと広げていく必要がある。
よい経営環境をつくらう	⑦強い組織と安定した財政基盤を	実践をしていることで、会社体質が変わったという視点で例会を組み立てた。	それぞれが自社に落とし込むには、時間と繰り返しの学びが必要。
	⑧新たな産業の創造で、元気な地域をつくらう	同友フェスタに参加した会員の意識が少し変わった。	参加した人の意見をもっと広げていく必要がある。
	⑨全ての市町村で中小企業振興基本条例の制定を	基本条例に関する学習会などは、開催できなかった。	他にもするべきことが多くあり、条例に関するものの順位が後ろになっている。
その他	⑩独自の取り組み	ジャムを中心とした支部活動は定着し、フェイスブックを活用した告知などは認知も深まってきた。自主的に参加するひとも増えた。	新入の会員さんを巻き込み切れていない。他の人に影響を与えられる会員を増やす必要がある。

<新川支部>

スローガン		本当の支部活動とはどうあるべきか？を追求し、模範となる支部を目指そう！	
		前進した点	残った(or新たな)課題
よい会社をつくらう	①経営指針の実践に踏みだそう	支部の指針入門に四名参加して、その中で二名と受講者以外で一名が県の「経営指針を作る会」に参加した。三名の参加者には、終了後に支部例会で報告してもらった。 毎回、環境レポートを新川塾で発表してもらい顔が見えて、自社の課題に気づく会員が増えている。	昨年、一昨の新川支部指針入門受講者のその後のフォローができていない。
	②強みを活かし、新たな仕事づくりを	「商倍交流会」は、勉強会中心で実施してきて、参加企業の中でそれぞれ自社に問題意識ある会社は、ここに講師と連携して学んで改善している。	仕事づくりへの要望は個々によって異なり広いため、取り組みのメインテーマが絞りきれない。
	③環境変化に対応した強靱な企業づくりを	新川塾で「経営環境レポート」を発表することは、発表者だけでなく参加者も自社の現状と課題について考える機会となってきた。	1回目の経営環境レポートは現状報告の傾向が強いので続けることで、二巡目から突っ込んだ話ができて問題解決につなげることを目指したい。
優れた経営者になろう	④支部会員の絆を強め、切磋琢磨しよう	経営環境レポートは、同じ視点で発表するのでとても良いと思うので、継続していく必要がある。	発表に対する時間が不足気味なので突っ込んだ話ができていない。幹事会との分離も検討必要。
	⑤学びあう場を充実させよう		参加を促してはいるが、幹事の参加率向上や一般会員の参加率アップなどの結果には結びついていない。
	⑥社員と共に成長し、全社一丸となれる企業づくりを	例会には社員とともに参加した会員が多くいた。	社員と一緒に参加して共に学べるような場づくりがもっと必要。
よい経営環境をつくらう	⑦強い組織と安定した財政基盤を	例会や商倍交流会などいろんな取り組みにゲストへのお誘いに取り組んできた。	ゲストが入会になかなか結び付かないため、会員増になっていない、参加を入会に確実に結びつけるにはどうするかが課題。
	⑧新たな産業の創造で、元気な地域をつくらう	元気な地域づくり・ハッピー上市会で「条例推進ハンドブック」の読み合わせを一年間継続した結果、全体としての理解レベルは上がった。	ただ、参加者が少ないため、理解の広がりがない。他地域の会員の参加が課題。
	⑨全ての市町村で中小企業振興基本条例の制定を	9月例会は、自社経営と朝日町の空家対策をテーマにした坂東さんの報告で、地域づくりを考えた。複数回の打ち合わせで報告内容をお互いに深めたので、報告もグループ討論も難しいテーマであったがよかった。魚津市長・朝日町町長・新川地域の行政の方やゲスト支部会員など多数の参加で活況があった。	朝日町や上市町などでは、地域のリーダー的会員の存在で、地域づくりを考える場がもたれているが、他地域での取り組みはこれからと言える。
その他	⑩独自の取り組み		

<高岡支部>

スローガン		みんなで女全交・新支部創設に参画して 元氣な企業づくり、仲間づくり、地域づくりを目指そう	
		前進した点	残った(or新たな)課題
よい会社をつくろう	①経営指針の実践に踏みだそう	理念塾は3支部合同開催、6名の受講生が全員最終講まで受講、昨年以上の受講生、助言者が多数出席した 幹事会後半で経営環境レポート報告や全県専門委員会委員の支部会員の実践報告から学べる幹事会が実施できた	理念塾の円滑な運営 経営指針を創る会に複数名受講者の送り出し 理念塾受講生のフォロー研修
	②強みを活かし、新たな仕事づくりを	地区会で会員企業訪問を2回実施、見学後の報告は各社の取組の理解と深い学びができた 夢フェスタには支部22社が参加、互いの仕事を知る・交流・商談・情報交換・提案等から新たな事業展開のヒントを得た会員も有り	互いの経営課題を話し合う小グループ活動の推進 会員企業連携からの新しい仕事づくり
	③環境変化に対応した強靱な企業づくりを	11月合同例会の神奈川同友会吉原氏の報告は人口減少社会での中小企業の雇用、働き方についての示唆満載でした。 また「やってみてダメなら戻る」に共感した会員が多かった	支部会員が自社10年ビジョンの作成 支部会員が支部10年ビジョンに参画
優れた経営者になろう	④支部会員の絆を強め、切磋琢磨しよう	新会員向けに環境レポート作成研修開催するその後幹事会で新会員さんに経営環境レポートの報告意見交換会を4名が行った。 地区会では会社訪問と取組の報告会を実施 プラチナ会での研修会の実施	活動への出席者を増やすこと、出席会員が固定化している ベテラン会員と若手会員の交流
	⑤学びあう場を充実させよう	女性経営者全国交流会や射水、氷見支部設立総会に多数の会員が出席、全国の元氣な会員報告から学びが多かった。	会員が参加したくなる・ゲストが入会したくなる例会の開催
	⑥社員と共に成長し、全社一丸となれる企業づくりを	10月例会・11月合同例会で「学んで実践」を体得できたと思います。 幹事会で共育委員会委員の委員会活動と自社での「学んで実践」報告会を開催	共有実践報告や課題の意見交換が少ない
よい経営環境をつくろう	⑦強い組織と安定した財政基盤を	同友会を知る会を4回実施。13名の新会員の入会となった。 新会員のサポーター制度が軌道に乗ってきた プラチナクラブの自主的活動	会員・ゲストに魅力あるグループ活動の推進 e-dou・HPの利用とスマホ対応の推進 毎年純増2名の会員増強の継続実施
	⑧新たな産業の創造で、元氣な地域をつくろう	夢フェスタでは会員企業同士を知り、商売に進展したケースもありました。また連携による試作品の展示もありました。フェスタの継続が連携の推進になっています。	フェスタに支部としての支援 エネルギーシフトの勉強会 30代～40代経営者と女性経営者の入会強化
	⑨全ての市町村で中小企業振興基本条例の制定を	会員数100名目標は達成率96%です。	高岡市行政との交流・参画のため高岡支部の広報、渉外活動 100名体制の会員増強活動の推進
その他	⑩独自の取り組み	プラチナ委員会では「事業承継」をテーマに研修会を開催しました。 ご無沙汰会員にも参加を促しBBQ大会で懇親を深めました。	ベテランと若手会員の交流の場の設営

＜射水支部＞

9月23日の設立総会では、沢山のご来賓の参列のもと開催でき、ご来賓・支部メンバー・他支部の皆様には感謝の念に堪えません。射水市の発展を自社の発展を通して達成していきたいと考えておりますが、様々な考え方がある事を改めて知り、他の意見を聞け大変感慨深く思いました。

設立後すぐに開催した11月オープン例会は、内外への広報が十分ではなかったものの射水市内金融機関をゲストに招き、参加会員やゲストから「有意義だった」との声が聞け安堵の念と共に、次に繋ぐ学校関係者と市内経済団体をゲストとするオープン例会にも弾みがついたものと考えております。

支部内の新会員フォローにおいては、忙しさと実施できていない部分も有りますが、同友会を知る会と経営環境レポートを創る会は今後も継続していきたいと考えております。

＜氷見支部＞

9月10日の設立総会の後、支部会員の学びを深めるために経営環境レポート作成の学習会や新会員の発表を進めました。

また、会員の皆さんが集まる機会を作るために、幹事会を定例会とし、全支部会員を対象にしました。まだ参加人数がそれほど多くならない状況ですが、経営環境レポートの発表や意見交換を通して、仲間意識を高めていきたいと思っております。

＜となみ野支部＞

スローガン		会員間の連携を深め、地域と共に、未来を変える。	
		前進した点	残った(or新たな)課題
よい会社をつくろう	①経営指針の実践に踏みだそう	今年度も県の指針セミナーを受講するメンバーが2人となりました。支部の指針セミナーの継続的な活動の結果が実ったものと感じています。	企業変革支援プログラムの活用が出来ていない状況です。また、入会から社外重役（経営環境レポート）、支部の指針セミナー、県の指針セミナーへの流れをしっかりと定着したいと思います。
	②強みを活かし、新たな仕事づくりを	ビジネス交流委員会の活動を通して、会員間のビジネス交流が増え、業務提携やコラボレーションも支部を超えて多く実現しています。また2回目となる「同友フェスタ」の活動を通して自社の強みをPR出来るようになってきたと思います。	新たな会員の獲得に向けた対策や、マンネリにならないように活動内容を工夫することが必要になっていると感じています。また、農業分野・介護分野の方々の仲間づくりも継続して取り組んでいきます。
	③環境変化に対応した強靱な企業づくりを	入会間もない方に社外重役会議で発表してもらう事で、自社の経営について学び・気づく機会を提供出来たように思います。	社外重役会議に取組む人数がまだ少ない状況です。また、同友会の良さを感じてもらい最初の取組みとして、ゲストの参加を実現させていきます。
優れた経営者になろう	④支部会員の絆を強め、切磋琢磨しよう		それぞれの活動の参加人数が少なくなりつつあります。また地域毎のグループ活動の必要性があるように感じています。まずは各地域毎の関係性が重要だと感じています。
	⑤学びあう場を充実させよう	当初の計画から、次年度の組織体制の準備、またとなみ野支部の「強」の活動の重要性を考え、計画内容を変更しました。合わせて、今後の若手中心メンバーと話し合いの場を持たせて頂きました。	それぞれの活動内容や参加者の満足度についてはまだ不足しているように感じています。事前の準備に多くのメンバーが携わる必要性があるように感じています。そのためにもマナビズ（旧：幹事会）の参加率を上げる必要があります。
	⑥社員と共に成長し、全社一丸となれる企業づくりを	各活動にまだ人数は少ないですが、社員の方も参加頂いています。その事により、グループ討議も立場の違い等から討論の内容についても深みが増し、お互いに学びと気づきにつながっていると感じています。	社員の皆さんの参加がもう少し増えれば良いなど感じています。また、会員企業の中で、会員と社員さんが一緒になって企業変革プログラムを活用するまでには至っていません。今後の課題だと考えています。
よい経営環境をつくろう	⑦強い組織と安定した財政基盤を	次年度の組織体制、またとなみ野支部の未来を見据えて、若手中心メンバーとなみ野支部の未来の話し合いの場を持ちました。また、既存会員からの紹介やオープン例会のゲスト参加、同友会メンバーが講師となり、その受講生が入会する等の実績もありました。	仲間づくりの目標人数にはまだまだ達成していません。既存会員（ご無沙汰会員）の方々への訪問活動を若手中心メンバーと進めて行く必要があります。
	⑧新たな産業の創造で、元気な地域をつくろう	今年度は、高岡支部、氷見支部、経営労働委員会と合同のオープン例会を開催させて頂きました。他支部との連携や、ゲストの方々にも多く参加頂きました。	会員以外の方々との交流の場を計画し、実践していく中で、お互いの活動の必要性和交流、連携ができるようにしていきたいと考えています。
	⑨全ての市町村で中小企業振興基本条例の制定を	産業振興会議のメンバーが今年度一新され、会員メンバーや関係者もその中に参加し、今後も継続して条例の浸透・展開に向けて進んでいくことが出来ています。また、女全交では南砺市長、会員と語る場が出来ました。	これまで、南砺市、小矢部市での条例策定も実現したので、後は砺波市だけとなっています。砺波市のメンバーと共に引き続き粘り強く、振興条例策定の運動を展開していく必要があると思います。
その他	⑩独自の取り組み	経営談義の場を持つことはしましたが、そもそもの参加人数が少なく、またゲストの参加も実現しませんでした。	新入会員の方の活動への参加の流れを、履歴として残し、誰がどの活動に参加しているのか、いないのかを幹事メンバーで共有し、活動への参加の声かけを計画的にしたいと思います。

※各部署の取り組みは、以下の課題①～⑩の視点でまとめました。

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| 課題① 経営指針の実践に踏みだそう | 課題② 強みを活かし、新たな仕事づくりを |
| 課題③ 環境変化に対応した強靱な企業づくりを | 課題④ 支部会員の絆を強め、切磋琢磨しよう |
| 課題⑤ 学びあう場を充実させよう | 課題⑥ 社員と共に成長し、全社一丸となれる企業づくりを |
| 課題⑦ 強い組織と安定した財政基盤を | 課題⑧ 新たな産業の創造で、元気な地域をつくろう |
| 課題⑨ 全ての市町村で中小企業振興基本条例の制定を | 課題⑩ 独自の取り組み |

〔3〕経営と自己の革新を進める委員会・部会活動を振り返って

◆活動基盤を強める、情報化推進本部・総務・仲間づくり・政策

◎情報化推進本部

ホームページは、一定以上の完成度と成果を見せました。HPからの問い合わせ増や入会者もあり、大きな成果です。更新に関しても、支部の皆さんが自分たちで行えるようになりましたが、委員会、部会までには至りませんでした。また、4大行事のHP更新責任者が決まっていなかったため、更新が滞ってしまいました。

e-doyuの利用率を上げる取り組みは、総務委員会と協力し、入会式で利用方法を説明する時間を設けました。新会員の利用率が高い傾向があり、一定の効果があつたと思われます。



高岡支部経営環境レポート学習会

◎総務委員会

議題⑤⑦

同友会活用塾は内容の濃いものになりましたが、参加メンバーがいつも同じで、若手の出席が少ないことが、今後の課題です。

また、新会員入会式はたくさんの方の参加があり、同友会組織や各支部の活動やe-doyuの活用に成果があつたと思います。

課題⑩

事務局の待遇改善にはまだ程遠く、業務も出来ることはパートさんで補い、会員も支部活動などはなるべく自分たちで運営するように心がけ多少の意識は出てきました。

◎仲間づくり協議会

全体としては、期首528名会勢からスタートして、期末532名、純増4名です。これは、射水と氷見の2つの新支部の立ち上げが大きかったと言えます。また各支部での知る会を開催など、意識は上がってきていますが、継続が課題です。入会式を県で行うなどの変化もあり、今後の活動が期待されます。

1. 会員を増やす活動：女性経営者全国交流会の開催で女性会員は少し増えましたが、全体には繋がりませんでした。仲間作り例会で、次年度以降の富山同友会の仲間作りの方向性の変化が期待できます。
2. 会員を減らさない活動：各支部での意識が少し変化してきました。新入会員の個別のフォローや参加が少ない会員を訪問したり、さまざまな取り組みがされています。
3. 成果を検証改善する活動：2016年度広浜幹事長（当時）の例会より、仲間作りの検証ができる資料作りを心がけてきました。各支部の数字を定期的に入れることで支部の現状が分かり、すべき活動が見えるようになりました。ただし、作るだけでなく支部活動に反映できるよう

に、各支部での取り組みを考えてもらうことが課題です。

4. 協議会を活性化：1～3にかけては少しずつ進んできたように思いますが、定例会議や組織問題全国交流会への参加が少ない、など消極的で活性化しているとは言えません。

2018年度は、協議会機能は「三役支部長会議」が担うよう変化しますが、仲間づくりの取り組みが停滞することのないよう進める必要があります。特に3の検証は継続して欲しいと考えます。

◎政策委員会

- ・2017年度活動の大きなポイントは、6月開催した女性経営者全国交流会です。
富山担当の分科会では、田中南砺市長・松井紀子氏（松井機業）・山田由理枝会員（ヤマヒデホーム）によるパネルディスカッションでは、南砺市の条例制定後の地域づくり企業づくりの事例として全国発信でき、大変有意義な内容でした。
- ・射水市では、昨年度から引き続き条例制定に向けた勉強会が継続され、上市町でも勉強会が継続されています。さらに新川支部例会では、朝日町の坂東会員（家印株）の空き家対策への取り組みを検証することが出来ました。地域ごとに特色ある活動展開は、いずれ成果につながるはずで引き続き活動を見守っていきます。
- ・年2回実施の景況調査は、5回を数えましたが、内容の分析が課題です。
- ・県商工労働部長との懇談会は5回目を迎え、会員の生の声を掲載した提言をもって臨むことで同友会の評価を確実なものにしてきたのではないかと考えます。

◆活動交流を広げ強靱な経営体質をつくる取り組み

◎経営労働委員会

「同友会らしい企業づくりは理念経営の具体的な実践から」

課題①③⑤⑥

- ・年度前半に女性経営者全国交流会と新支部設立で例年と異なったせいか、「指針を創る会」の受講者は9名にとどまったため、助言者不足感は少なかったようです。熱心に参加している会員や関わってくれている会員の一部に、実践からくる変化が見られました。
- ・「労働環境改善」をテーマにした合同例会を実施しました。定例委員会で「人を生かす経営談義」のタイトルで、経営実践や労働環境整備の意見交換をしています。
- ・課題としては、もっと労使見解の理解を深める取り組みが必要です。各支部の理念塾の進め方・あり方などの再検討、富山同友会として地に足のついた三位一体の議論、支部との連携を考えた委員会の組織化などです。

◎共同求人委員会

<成 果>

1. 参加企業数は、今年度64社（昨年度58社）、参加形態別は、フル参加43社（昨年度36社）、パンフ・WEB参加11社（昨年度10社）、学習会参加10社（昨年度12社）となりました。
中小企業にとって非常に厳しい採用状況が続く中、合同企業説明会での情報共有、共同求人をテーマとした支部例会や勉強会などを通じて、共同求人理念を会員に伝えることができました。また「新卒採用に挑戦してみたい」と考える企業が増加しました。
2. 合同企業説明会（kinetとの合同開催）は計5回開催し、のべ525名（昨年度491名）の学生が参加しました。全国的に学生参加数が激減している中、学内合説を3回開催し延べ194名の参加がありました。また、学校訪問や意見交換会、産学官懇談会などを通じ、就職担当の先生方とのネットワーク構築も着実に進みました。
3. 採用直結型短期インターンシップに随時取組みました。企業側にとっては、受け入れ態勢や

指導方法、社員教育体制、仕事観や目的の再確認ができる良い機会となりました。

＜課 題＞

1. 地方の人口減少・少子高齢化が進む中、学生の都市圏集中化は加速し止められない動きです。

学校や行政と連携し、小中学校から富山の良さを認識できる活動が必要です。一旦県外にでた学生らに訴えるのは難しいことと捉え、F P 部会などとの連携を強めねばなりません。

2. 従来の合説だけでは、参加者の目途が立

ちにくなりました。東京で開催した合説は学生への告知も含めて課題を残しました。個々の学校との連携、告知力や時期と会場選定、他県同友会とのタイアップ等、工夫が必要です。どのように学生たちに情報を発信し、合説やインターンシップ、社内説明会などへの動員を図り、それぞれの企業の良さをより知ってもらう機会を設けることが今後の課題です。

3. 個々の会社での方針作りと社員との共有が必要です。自社の売りや特徴を語らずして魅力は出せません。自社のレベルアップ・魅力アップ・表現力が必要です。労働環境の整備・工夫も重要です。大手の真似はしたくありませんが、良いところは学び反映させることも重要です。



新川支部 3 月例会

◎共育委員会

課題① 現段階では、経営労働委員会との連携までには至っていません。

課題② 研修時のグループごとのアドバイザーを、一つ上の階層社員に参加してもらい任せるという取り組みを試みました。課題は、アドバイザー社員の力量に任せすぎたため、うまく進められないグループもあったことです。

課題③ 講師を招き、今までの課題と今後の研修内容の確認等を行うことができました。課題は、参加企業が少な目だった点です。

課題④ 経営層向けの事前交流会は、ある程度定着してきたように思えますが、参加企業が限られてしまうという課題については中々解消できていません。

課題⑤ SNSやHPの利用には至っておらず、模索中です。

課題⑥ マネージメント研修は、内容を改善するため現在検討中で、新年度開催をめざしています。

課題⑩ 出張お出かけ委員会などを企画し、一部実行しています。課題は、共育に消極的な企業も多く、現段階では場当たりの成果しか得られていない点です。

●経営課題に直結する取り組み

◎三位一体経営推進協議会

- ・前進点は、経営労働委員会、共育委員会では、運営以外に自社の経営報告を“人を生かす経営”の観点から意見交換したことです。共同求人委員会は、若者雇用促進法を三位一体の推進として学習会を行いました。
- ・課題は、労使見解の捉え方がまだまだで、三位一体が言葉だけで学びもどうなのか？という中、実践している会員が増えていないことと、3委員会のつながりもまだ弱い点です。

◎障害者問題部会

部会理念「私達は誰もがとともに働く喜びと幸せを感じられる地域社会を目指します」

- ・行政や教育機関との連携強化は、富山県教育委員会県立学校課との連携が大きく前進しまし

た。部会の取り組みや地道な活動の熱意が少しずつ伝わっていると感じます。共育委員会が注視してくれることで、支援学校の動きもより活発になってきました。

- ・高岡高等支援学校、富山総合支援学校、富山県聴覚総合支援学校他での例会を開き、障害者の理解を深めました。
- ・北陸地区特別支援学校知的障害教育校PTA連合(富山・石川・福井)で、“仕事見学会”を中心に、部会の経緯・現状・今後などについて報告する機会を得ました。
- ・10/19-20 障害者問題全国交流会 in 広島へ3名が出席し、大きな学びを得ました。
- ・11/29 開催の2017年仕事見学会の意見交換会には、県教育委員会・支援学校・支援施設・会員企業・ゲストなど45名が参加し、広島の参加報告と合わせて充実した内容の意見交換となりました。
- ・課題は、障害者雇用が企業の力になるという視点で、行政、学校、企業がトコトン話し合える場をより強化しながら、現状に甘んじることなく次のステップに移すことです。

◎環境部会

- ・経営環境事例は、6社(株)ロンウッド・三和パック(株)・(株)森崎・ホテル黒部・(株)ナリキ・(株)オーパーツ)に報告を頂きました。業種によって取組の違いはありますが共通していたことは、理念の追求＝環境経営の実践です。省エネ・業務改善・環境商品化・地域資源の循環に繋がっていました。
- ・今年度、支部や委員会との連携はできていませんが、同友会では「学んで実践、そして報告者になって報告、さらに学んで実践報告のサイクル」が重要です。同友会での学びの質が継続させる取り組みが必要です。
- ・ゼロエネルギーハウス(木創研)の取組みは、建物の見学会を3回と報告会を1回行い、パッシブ型ハウスのしくみについて学びました。今後は、実際の取組となります。
- ・庄川峡観光協同組合の見学では、庄川温泉郷を永続的に維持発展させるために、観光振興により県内外からお客様に来ていただき、地域にお金を回し地域創生を目指す取組みに学びました。地域の肉屋・魚屋・農家も参画しての取組みは、今後カタチになっていくと期待できます。
- ・6月女全交、9月射水・氷見の新支部設立総会に参加しました。

◎青年部会

スローガン：夢を語り、目標達成する喜びを実感できる青年部活動

重点方針：会員が集まって、自社や自身を共に良くする活動の場をつくる。

前進した点

- ・目標達成委員会の活動を通じ、前年よりも会員同士が自社の事を話す機会になりました。経営者として、会社の方針が明確になっていないことを反省し、数値目標を意識して活動する事で、自社の利益に貢献できました。
- ・北陸青年経営者三県合同例会では、参加目標を達成できました。例会への参加勧誘活動により、他県青年部と交流する機会ができました。特に、関わりの薄かった新潟や新たに立ち上げられた長野などです。加えて、富山同友会と青年部への入会につながりました。

残った課題(反省)

- ・例会運営委員会の活動が途中で止まってしまいました。委員長とお互いに理解していない部分があった事が原因です。組織人事には、気質や行動をみる目を養い分かり合う時間が大事です。
- ・他県青年部行事、全国行事へのお誘いはしましたが、富山同友会の全県・支部・委員会への交流にはアクションができませんでした。その仕組みをつくる必要があります。

◎女性部会

部会テーマ「きらめく女性の輪をひろげ、元気な地域づくりをめざそう！」

- ・6月の女性経営者全国交流会に向けて、女性部と言うより富山同友会として全会員の協力のも

と「よい会社・よい経営者・よい経営環境」を根底に、各分科会に分かれて全国の会員と共に社員も一緒に学びあい交流をしました。目的・目標・コンセプトを決めて取り組むことは、大きな力に結びつき結果につながる事が示せました。

- ・女全交終了後は、新たな出発として原点に帰り、財務を学ぶ「数字の見方・考え方」でセミナーを3回シリーズで開催しました。ひとりひとりが声をあげたくなる学びや取り組みを、今後も考えて行きたいと思います。

◎F.P.部会

前進した点

- ・「なんのために働くのか？生きるのか？地域とは？」をテーマに富山商業高校の2年生全7クラスの生徒に対し企業経営者が各3回の事業を行いました。その授業を通して「本当のおもてなしとは？」を考え始めた生徒たちは、富山商業高校のTOMISHOPの当日の実演販売にて、一昨年以上にお客様に最高の笑顔で接客している姿を見せてくれました。

さらに新たにTOMISHOP本番直前に学校側からの依頼で、全校集会で全校生徒に向けて講義を行いました。生徒達のTOMISHOPの目的の再認識に、一歩踏み込んで関わることが出来ました。

残った課題

- ・本年度学校側から要望があった「先生方に向けての授業」の実施を検討していきたいと考えます。仕事を通じて地域貢献をしている地元中小企業を感じる「地域で働く喜び」を、商業科の先生方とも共有し、生徒の指導に中小企業の役割や楽しさなどを伝えていけるように、今後「例会」や「授業」という形を模索しながら、一緒に子供たちの未来を考える場をつくりたいと考えます。



北陸銀行との連携協定締結式

●自主的な研究会

◎「未来来TOYAMA」（立教大学名誉教授 山口義行先生を囲む勉強会）

- 良い点
1. 本番に向け、グループ単位の勉強会を実施しています。
 2. 毎回勉強会の前に、全員が課題の提出をします。
 3. 活発な発表があります。
 4. 検証の発表も怠りません。

- 課題
1. 事前のグループ勉強会・本番の欠席者が3～4名出ます。
 2. 先生に来ていただけることの価値をわかってない人がいます。

◎「戦略的経営塾」

経営指針の実践を進めていく中で、自社の強みを活かし、組織をどの様に発展させていくために「戦略アイデア」を出し、それを事業ベースに乗せることは経営者の大切な仕事の一つです。

8期目となる今期は、新たに2名の塾生を迎え、先生の講義「戦略分析手法」「戦略概念」から各企業、生の事業戦略の実践に取り組みました。また、経営者自身の取組姿勢も学び合いの中から刺激合っています。

地域づくりにつながっている企業、隣接業種に進出している企業、ニッチな分野に気付き進出を試みている企業などなど、塾生経営者の本気度が、社員たちを巻き込み、結果につながり始めた一年でした。

● 会の発展にふさわしい事務局づくり

事務局に何を求めるかは役員や会員によって様々ですが、活動が質・量とも増加するなかで、事務局が本来やるべき仕事や取り組みたい事を整理し、会員との役割分担をどう進めるかについて検討する一年にしたいとスタートしましたが、現状は実務をこなしていく一年となりました。事務局体制が定まらないなかでも業務の質向上と効率化、労働環境改善に、具体性をもって取り組んでいく必要があります。

〔4〕企業の展望を確かにする全国行事を振り返って

【参加状況】

全国総会／愛知（11名）、青年経営者全国交流会／茨城（5名）、全国研究集会／兵庫（3名）、女性経営者全国交流会／富山（206名）、経営労働問題全国交流会／京都（7名）、共同求人・社員教育活動全国交流会／島根（2名）、中小企業憲章キックオフ集会／東京（2名）、組織強化・会員増強全国交流会／東京（7名）、障害者問題全国交流会／広島（3名）、北陸青年経営者三県合同例会／富山（45名）、中日本ブロック支部長交流会・代表者会議／石川（10・5名）、その他専門委員会・中同協会議など（28名）

【中同協行事及び他県同友会などへの派遣報告者と派遣先（五十音順、敬称略）】

山田由里枝（第20回女性経営者全国交流会in富山分科会）、黒田保光（外部:全国定通教育学習交流集会）、作道和宏（外部:北陸地区特別支援学校知的障害教育校PTA連合会総会）、桑原靖夫（外部:北陸地区特別支援学校知的障害教育校PTA連合会総会、ヴィスト障害者雇用促進セミナー、富山総合支援学校）、能作克治（岐阜：東濃地区新春経営講演会）、竹平政男（山形:研究集会分科会）、高橋賢（石川:2018役員選出総会&新春のつどい）、小柴順子（北海道しりべし小樽：支部例会）

おわりに

第6次中期ビジョン最終年となるこの一年は、第20回女性経営者全国交流会 in 富山の準備で幕が開け、準備と本番を通して全国の会員のパワーを肌で感じられる機会になりました。さらに、新支部の設立で、組織として新しいステージにどう踏み出すかを考える機会となりました。反面、各部署の活動と全体活動との連携が、必ずしもスムーズとは言えない現状もあります。いま富山同友会は、学だけでなく実践して成果につなげているのか？が問われています。新年度に向けても、引き続き会員同士のつながりを深め、強靱な経営体質をつくる活動を充実させ、「企業づくり」「人づくり」「地域づくり」に向けて共に挑戦し続けましょう。

第6次中期ビジョン 2016年度調査結果報告書

表の見方

回答・集計方法 設問①③⑥＝2017年7月会員アンケートの回答集計(回答数138社 支部別会員数合計525社 回答率26.3%)

設問②④⑤⑦⑧⑨＝当該年度7月1日時点集計

注1: 設問③ 黒字企業110社/アンケート回答数138社*100=79.7%

注2: 設問④ 2016年度活動参加者346名/支部別会員数合計525*100=65.9% ※会議を除く2016年度の全活動を対象

	チェック項目	調査方法等	単位	2013年度 2013.04.01～ 2014.03.31	2014年度 2014.04.01～ 2015.03.31	2015年度 2015.04.01～ 2016.03.31	2016年度 2016.04.01～ 2017.03.31	ビジョン最終 年の 目標	備考
①	経営指針(理念・方針・計画)の実践数	企業変革支援プログラム方式で0～5のレベル数値を調査	レベル	2.24	2.23	2.30	2.35	3	アンケート調査 平均値
②	会員企業における雇用者総数(雇用率)	正規・非正規社員の合計数を調査	名	14,672 (4.75%)	14,163 (4.59%)	13,602 (4.41%)	13,267 (4.30%)	21,000	最終年目標は富山県の雇用者総数の7%に相当
③	黒字企業数(営業利益)	単年度営業利益「黒字or赤字」を調査	%	80.1	81.0 ※注1	84.7 ※注1	79.7 ※注1	80	アンケート調査 回答割合
④	全ての活動への参加者数	全ての活動に年間1回以上参加した会員割合を調査	%	59.6	63.9 ※注2	69.3 ※注2	65.9 ※注2	80	対会員割合
⑤	報告者数(達成率)	年間活動計画の全てを報告機会とし、報告者数を調査	名	68 (27.2%)	110 (44.0%)	150 (60.0%)	204 (81.6%)	250	複数回報告も1回と換算 積み上げ加算方式
⑥	自社の中期ビジョンの成文化	企業変革支援プログラム方式で0～5のレベル数値を調査	レベル	1.93	2.20	2.23	2.11	2.5	アンケート調査 平均値
⑦	会員数	各支部会員数を合算 (当該年度6/1時点)	名	527	537	528	525	750	最終年目標は各支部目標を 合算。各市町村別の会員組 織率で平均5%をめざす
⑧	新しい仕事プロジェクト参加会員数	新産業創造部会、環境部会、障害者問題部会に登録している会員数を調査	名	79	94	102	103	増やす	各支部のビジネス交流会等の 参加会員数も加算
⑨	市町村での条例制定数	県下15市町村を対象に、中小企業振興基本条例の制定数を調査	市町村	0	1	2	3	6	同友会が積極的に関わる ※2015年南砺市制定 ※2016年高岡市制定 ※2016年小矢部市制定

2017年度活動日誌(2017.4.1～2018.3.31)

開始日	活動名	タイトル	報告者	参加人数	ゲスト人数
全国・中日本ブロック行事等					
2017/05/25	中日本ブロック支部長交流会(石川)			10	
2017/05/26	中日本ブロック代表者会議(石川)			5	
2017/06/06	中小企業憲章キックオフ集会・条例本部会議(東京)			2	
2017/06/07	中同協第5回幹事会(東京)			2	
2017/06/15	第20回女性経営者全国交流会(富山)	「挑戦！しなやかに煌めく笑顔で未来へつなごう」		694	28
2017/06/15	々	第1分科会 「ファミリービジネスへの挑戦」 サツマ電気㈱代表取締役	梶川久美子氏	61	1
2017/06/15	々	第2分科会 「経営者の本気を社員にみせていますか！？」 ㈱オーザック専務取締役	岡崎瑞穂氏	127	1
2017/06/15	々	第3分科会 「多様性を"力"に変えるチーム作り」 ㈱パワーネット代表取締役	谷淵陽子氏	98	1
2017/06/15	々	第4分科会 「社員ファースト経営への変革で新事業創出」 ウェブクリエイティブ㈱代表取締役	石橋史恵氏	90	1
2017/06/15	々	第5分科会 「生活者の視点で誰もが実現できるエネルギー」 ㈱平野金商店 代表取締役・岩手同友会 事務局次長	平野佳則・木村恵子氏	73	2
2017/06/15	々	第6分科会 「地域創生のキーパーソンは女性達！」 南砺市 市長・㈱松井機業 6代目見習	田中幹夫・松井紀子氏、山田由理枝会員	132	2
2017/06/15	々	第7分科会 「妻の後に残すのは、未来を築く力」 タツミ産業㈱ 営業推進部長・㈱Eproject 代表取締役・㈱ゼンGIFT ENTERPRISE 代表取締役	西村佳津子・古川永里子・寺本智恵子氏	85	3
2017/06/16	々	記念講演 「女性活躍4.0時代"いい子"から"リーダー"へ」 昭和女子大学 理事長・教授	坂東眞理子氏	694	1
2017/07/06	中同協第49回定時総会(愛知)一泊	「世界を見据え、地域に生きる～中小企業と同友会の強みを活かして～」		11	
2017/07/07	中同協第1回幹事会(愛知)			3	
2017/08/26	第9回北陸青年経営者三県合同例会	「輝く人を育てる未来ビジョン」		45	
2017/08/31	第5回経営労働問題全国交流会(京都)一泊	「社員と共に魅力ある未来を創造し持続可能な企業へ」		7	
2017/09/01	中同協経営労働委員会			2	
2017/09/07	中同協第3回共同求人・社員教育合同委員会			2	
2017/09/14	第45回青年経営者全国交流会(茨城)一泊	「語れ夢！ぶつけよう思い！弘めよ我らの志！～挑戦こそが未来を創る～」		5	
2017/09/21	中同協女性部連絡会			4	
2017/09/28	中日本ブロック事務局長会議(静岡)一泊			1	
2017/10/05	組織強化・会員増強全国交流会(東京)一泊			7	
2017/10/05	中同協第2回幹事会(東京)			3	
2017/10/19	第19回障害者問題全国交流会(広島)一泊	「誰もが安心して暮らせ、夢の持てる地域づくりを」		3	1
2017/11/14	中小企業憲章・条例推進本部と政策委員会合同会議(一泊)			1	
2017/12/07	共同求人・社員教育活動全国交流会(島根)	「地域で若者を育て、地域に若者を残す～持続可能な地域と企業のために～」		2	
2017/12/15	全国事務局長会議(東京)一泊			1	
2018/01/12	中同協第3回幹事会(東京)一泊			1	
2018/01/24	中同協経営労働委員会			3	
2018/02/08	第48回中小企業問題全国研究集会(兵庫)・「地域再生の担い手として、時代を創る「地域企業」への変革を」			3	
2018/02/14	中同協女性部連絡会(大阪)			1	
2018/02/15	中同協障害者問題委員会			1	
2018/02/21	中小企業憲章・条例推進本部会議と政策委員会合同会議			1	
2018/03/01	中日本ブロック事務局長会議(福井)			1	
2018/03/09	中同協第4回幹事会(東京)			1	
全県行事					
2017/04/25	第38回定時総会 総会の部			155	
2017/04/25	第38回定時総会 懇親会の部			126	
2017/12/09	とやま夢づくりフェスタ	「かがやけ！地域を創る中小企業！」		91	
2018/01/27	新春のつどい	「共に煌めく、なつ星～水見・射水、二つの新星を加え、しるべ指す未来(あす)を共に語らう宴～」		213	4
2018/03/02	第28回経営研究フォーラム	「これからの中小企業の経営戦略と、金融機関の役割」 立教大学名誉教授	山口義行氏	120	5
城南支部					
2017/04/08	全体会	「自社の経営に生かせる学びをし、そして動く！」		25	
2017/05/08	幹事会①	「経営環境レポートの発表と意見交換会」	大畑洋子会員	19	
2017/05/17	よい会社をつくろうG会①	「LIFE SHIFT 第1章～第3章 意見交換会」		11	
2017/05/24	経営理念塾 第1講			11	
2017/05/27	第5回ディスカバリー杯ゴルフコンペ			11	
2017/06/11	優れた経営者になろうG会①	「ディスカバリー杯登山in中山」		7	
2017/06/12	幹事会②	「経営環境レポートの発表と意見交換会」	澤田慎之介会員	19	
2017/06/28	経営理念塾 第2講			10	
2017/06/30	優れた経営者になろうG会②	「トラブルを予防するために！中小企業のための労働法の知識」	春山然浩会員	13	1
2017/07/10	幹事会③	「経営環境レポートの発表と意見交換会」	若林宗弘会員	20	
2017/07/19	よい経営環境をつくろうG会①	「業務にソリューションを！！」 ㈱富山第一銀行 副支店長	大屋雅嗣氏	18	2
2017/07/22	優れた経営者になろうG会③	「ディスカバリー登山in富士山」		6	
2017/07/26	経営理念塾 第3講			10	
2017/08/01	よい会社をつくろうG会②	「花火大会」		18	
2017/08/21	幹事会④	「経営環境レポートの発表と意見交換会」	大辻知朗会員	17	
2017/08/23	経営理念塾 第4講			7	
2017/09/11	幹事会⑤	「経営環境レポートの発表と意見交換会」	大谷学会員	15	
2017/09/25	10月例会		下津佐雅之・酒井郁生会員	15	
2017/10/11	幹事会⑥	「経営環境レポートの発表と意見交換会」	山谷淳一会員	14	
2017/10/18	よい会社をつくろうG会③	「LIFE SHIFT 第1章～第3章 意見交換会」		8	
2017/10/25	10月例会	「血の繋がりを超える、心のつながりを……第3者承継をスタートさせた2人の挑戦～」	酒井郁生・下津佐雅之会員	54	1
2017/11/04	第6回ディスカバリー杯ゴルフコンペ			11	
2017/11/13	幹事会⑦	「経営環境レポートの発表と意見交換会」	中崎洋一さん	11	
2017/11/29	同友会をもっともっと知る会			13	
2017/12/01	望年会			26	
2017/12/11	幹事会⑧	「経営環境レポートの発表と意見交換会」	中川雄哉会員	15	
2018/01/13	拡大幹事会	「城南支部をつくる会」		17	
2018/02/21	よい会社をつくろうG会④	「10年ビジョン(10年後のありたい姿)を語ろう」		7	
2018/02/28	よい経営環境をつくろうG会②	「前向き社員の育て方!!」にいかわ若者サポートステーション 総括コーディネーター	松居和世氏	19	1
城北支部					
2017/04/04	JAM①			19	1
2017/04/15	全体会	「仲間の夢を応援し合い、日本一つながりの強い支部にしよう」		30	
2017/04/18	JAM②			18	
2017/05/16	JAM③			16	
2017/05/22	雑学探求会⑦	「あなたの第一印象は色で決まる！言葉よりも伝わるパーソナルカラー」	森田大樹会員	17	
2017/05/24	経営理念塾 第1講			13	
2017/06/20	JAM④			22	1
2017/06/28	経営理念塾 第2講			16	
2017/07/04	JAM⑤			19	1
2017/07/14	納涼祭			19	
2017/07/26	経営理念塾 第3講			17	1
2017/08/01	JAM⑥			14	2
2017/08/23	経営理念塾 第4講			15	
2017/08/28	知る会・活かす会	「行列の出来る異業種交流会」	田村彰英会員	20	4
2017/09/05	JAM⑦			16	
2017/09/19	JAM⑧			13	
2017/10/03	JAM⑨			14	
2017/10/17	JAM⑩			14	
2017/11/07	JAM⑪			13	
2017/11/08	雑学探究会⑧	「日本人・親・経営者として 食の安全・安心を考える」 県厚生農協連合会 健康福祉アドバイザー 大浦栄次氏		14	1
2017/11/21	JAM⑫			12	
2017/11/28	11月例会	「なんで、やらんがけ？」	中曽根勝人会員	29	1
2017/12/05	望年会			31	
2017/12/19	JAM⑬			9	

開始日	活動名	タイトル	報告者	参加人数	ゲスト人数
2018/01/16 JAM⑭				16	
2018/02/06 JAM⑮				15	
2018/02/20 JAM⑯				13	
2018/02/26 知る会・活かす会	「行列のできる異業種交流会」			13	2
2018/03/06 JAM⑰				15	
2018/03/20 JAM⑱				16	
新川支部					
2017/04/04 新川塾①	「経営環境レポートの発表」		田辺桂也・志摩永司会員	12	
2017/04/13 会社訪問①	「㈱内山精工 会社訪問」		内山彰博会員	8	
2017/04/28 元気な地域づくり①④(ハッピー上市40)				16	1
2017/05/02 新川塾②	「経営環境レポートの発表」		安井美枝子・北川浩美会員	9	
2017/05/19 元気な地域づくり②(ハッピー上市41)				7	
2017/05/25 指針入門①				12	
2017/06/05 新川塾③	「経営環境レポートの発表」		森下雅之・坂井賢治会員	7	
2017/06/22 指針入門②				11	
2017/06/23 商倍交流会①	「知らないと損をする補助金について」「返済が入らない補助金」よろず支援拠点 コーディネーター		布目大剛・中陳和人氏	16	3
2017/06/29 元気な地域づくり③(ハッピー上市42)			泊漁業協同組合 脇山正美氏・佐渡栄寿会員	17	2
2017/07/04 新川塾④	「経営環境レポートの発表」		早川祐一・腰山卓也会員	13	
2017/07/19 会社訪問②	「アイシン新和㈱ 会社訪問」			10	
2017/07/20 元気な地域づくり④(ハッピー上市43)				11	
2017/07/27 指針入門③				11	
2017/08/01 新川塾⑤	「経営環境レポートの発表」		坂井泉会員・山崎事務局員	5	
2017/08/17 元気な地域づくり⑤(ハッピー上市44)				10	
2017/08/18 指針入門③ 補講				7	
2017/08/24 指針入門④				7	
2017/08/25 商倍交流会②	「ネットの勉強しませんか！」		北川浩美会員	12	
2017/09/05 新川塾⑥	「経営環境レポートの発表」		中島勝喜・野末英介会員	16	
2017/09/06 指針入門④ 補講				5	
2017/09/14 元気な地域づくり⑥(ハッピー上市45)				8	1
2017/09/18 指針入門⑤				11	
2017/09/27 9月合同例会	「儲けと無縁の地域貢献で、売り上げ急増！～地域づくりは仕事づくり！？～」		坂東秀昭会員	76	10
2017/10/16 商倍交流会③				5	
2017/10/19 元気な地域づくり⑦(ハッピー上市46)				4	1
2017/11/07 新川塾⑦	「経営環境レポートの発表」		八倉巻外光会員	11	
2017/11/16 元気な地域づくり⑧(ハッピー上市47)				9	1
2017/12/01 元気な地域づくり⑨(ハッピー上市48)				3	
2017/12/05 望年会				31	
2017/12/21 元気な地域づくり⑩(ハッピー上市49)				7	1
2018/01/17 元気な地域づくり⑪(ハッピー上市50)				9	2
2018/02/15 元気な地域づくり⑫(ハッピー上市51)				5	2
2018/02/19 商倍交流会	「経営力向上計画に取り組もう」		布目大剛氏	11	
2018/03/05 3月例会	「企業理念作成に取り組んだ5ヶ月間！～見えてきた自社の未来～」		杉本俊二・中嶋康太・坂東秀昭会員	45	10
2018/03/15 元気な地域づくり⑬(ハッピー上市52)				10	3
2018/03/20 新川塾⑰	「経営環境レポートの発表」		小幡高勢会員	10	
高岡支部					
2017/04/12 全体会	「みんなで女全交・新支部創設に参画して元気な企業づくり、仲間づくり、地域づくりを目指そう」			54	2
2017/04/27 高岡西・東地区合同地区会①	「顔合わせ懇親会」			21	
2017/05/10 幹事会②	「経営環境レポートの発表と意見交換会」		堀豊会員	18	
2017/05/20 経営委員会	「経営理念塾 オリエンテーション」			13	
2017/05/24 プラチナ委員会①	「顔合わせ懇親会」			8	
2017/06/07 幹事会③	「共同求人セミナーと意見交換会」		山口真二会員	12	
2017/06/17 交流委員会①	「第9回ゴルフコンペ」			30	7
2017/06/23 高岡西地区会①	「経営環境レポートの発表と意見交換会」		原夏美会員	12	
2017/06/24 経営委員会	「経営理念塾 第1講」			16	
2017/07/05 幹事会④	「経営環境レポート作成講座」		山中貴子会員	15	
2017/07/08 経営委員会	「経営理念塾 第2講」			17	
2017/07/26 増員推進委員会①	「同友会を知る会①」			21	6
2017/08/01 幹事会⑤	「共育セミナーと意見交換会」		杉江幸宏会員	13	
2017/08/09 高岡東地区会①	「会社訪問」		小柴雅信会員	13	
2017/08/26 経営委員会	「経営理念塾 第3講」			11	
2017/08/29 経営委員会	「経営理念塾 第3講補講」			6	
2017/09/03 プラチナ委員会②	「BBQ」			17	
2017/09/06 幹事会⑥	「経営環境レポート作成講座」		京谷浩平会員	15	
2017/09/16 経営委員会	「経営理念塾 第4講」			13	
2017/09/21 増員推進委員会	「仲間づくり一斉行動」			3	
2017/09/27 増員推進委員会②	「同友会を知る会②」			13	2
2017/10/17 10月例会	「想いは行動で叶う～全ては自分から 七転び八起きで学んだ社長の姿勢～」		荒木信幸会員	48	16
2017/11/01 幹事会⑧	「経営環境レポートの発表と意見交換会」		坂本義夫会員	10	
2017/11/09 合同例会	「社員7人の町工場、残業ゼロ、社員年収600万超え、週休3日を旨とする経営実践とは」 ㈱吉原精工 会長		吉原博氏	54	7
2017/11/22 高岡西・東地区合同地区会②			梶川貴子会員	14	
2017/11/27 増員推進委員会③	「同友会を知る会③」			10	
2017/11/29 プラチナ委員会③	「どうする？いつする？事業継承」 行政書絵ラポール法務事務所 代表		川筋真氏	16	1
2017/12/14 望年会				39	
2018/02/21 増員推進委員会④	「同友会を知る会④」			12	3
2018/03/07 幹事会⑫	「経営環境レポートの発表と意見交換会」		坂本義夫会員	17	
射水支部					
2017/05/20 経営委員会	「経営理念塾 オリエンテーション」			6	
2017/06/24 経営委員会	「経営理念塾 第1講」			9	
2017/06/30 仲間づくり委員会	「同友会を知る会①」			18	4
2017/07/08 経営委員会	「経営理念塾 第2講」			9	
2017/08/17 仲間づくり委員会	「仲間づくり一斉行動」			4	
2017/08/26 経営委員会	「経営理念塾 第3講」			6	
2017/08/29 経営委員会	「経営理念塾 第3講補講」			6	
2017/08/30 仲間づくり委員会	「仲間づくり一斉行動」			7	
2017/09/16 経営委員会	「経営理念塾 第4講」			7	
2017/09/23 設立総会	「地域の期待に応えられる企業づくり、支部づくり～自社と地域は運命共同体～」 ㈱ヴィ・クルー 代表取締役		佐藤全氏	102	13
2017/11/21 11月例会	「事業承継と同友会」		近江清会員	35	6
2017/12/14 会員活性化委員会	「望年会」			22	
2018/01/09 幹事会⑩	「自社の10年ビジョン発表会」		柳沢浩会員	11	
2018/02/06 幹事会⑪	「自社の10年ビジョン発表会」		伊藤孝志会員	4	
2018/03/06 幹事会⑫	「自社の10年ビジョン発表会」		矢野正人会員	10	
氷見支部					
2017/05/19 地区会①	「同友会を知る会」			18	5
2017/05/20 経営委員会	「経営理念塾 オリエンテーション」			2	
2017/06/24 経営委員会	「経営理念塾 第1講」			1	
2017/06/28 地区会②	「同友会を知る会」			18	5
2017/07/08 経営委員会	「経営理念塾 第2講」			1	
2017/08/07 地区会③	「同友会を知る会」			10	2
2017/08/10 仲間づくり委員会	「仲間づくり一斉行動」			7	

開始日	活動名	タイトル	報告者	参加人数	ゲスト人数
2017/08/18	仲間づくり委員会	「仲間づくり一斉行動」		4	
2017/08/26	経営委員会	「経営理念塾 第3講」		2	
2017/09/04	顔合わせ会			11	
2017/09/10	設立総会	「同友会で何を学び、どう実践するのか～リーダーの役割と使命～」 株式会社 名誉会長 鶴柄修氏	鶴柄修氏	92	3
2017/09/16	経営委員会	「経営理念塾 第4講」		1	
2017/10/19	経営環境レポート学習会		森田昌孝会員	16	
2017/11/09	合同例会	「社員7人の町工場、残業ゼロ、社員年収600万超え、週休3日を目指す経営実践とは」 株式会社 会長 吉原博氏	吉原博氏	54	1
2017/12/20	望年会			16	
2018/02/28	定例会	「経営環境レポートの発表」	永森栄一会員	11	
となみ野支部					
2017/04/20	全体会	「会員間の連携を深め、地域と共に未来を変える」		22	
2017/05/08	マナビズ①			11	
2017/05/15	5月例会	「迷わずいけよ！行けばわかるさ！～悩みながら、失敗しながら。未来を見据えた会社づくり～」 中島勝喜会員	中島勝喜会員	30	
2017/05/30	ビジネス交流委員会			8	
2017/06/12	マナビズ②			11	
2017/06/29	経営指針セミナー 第1講			14	
2017/07/10	マナビズ③			12	
2017/07/26	小矢部グループ・ビジネス交流委員会合同企業「南潟沼塗装店・緑空 会社見学会」			16	
2017/07/27	経営指針セミナー 第2講			13	
2017/08/07	マナビズ④			4	
2017/08/24	社外重役会議	「経営環境レポートの発表と意見交換」	中澤雄彦・本郷良次会員	13	
2017/08/29	経営指針セミナー 第3講			13	
2017/09/11	マナビズ⑤			12	
2017/09/22	ビジネス交流委員会	「石崎家具株式会社・株式会社 会社見学会」		8	
2017/09/27	ビジネス交流委員会			10	
2017/10/16	マナビズ⑥			9	
2017/10/16	ビジネス交流委員会	「海外視察inベトナム事前説明会」		7	
2017/11/01	ビジネス交流委員会	「第5回海外視察inベトナム」		10	
2017/11/09	合同例会	「社員7人の町工場、残業ゼロ、社員年収600万超え、週休3日を目指す経営実践とは」 株式会社 会長 吉原博氏	吉原博氏	54	1
2017/11/13	マナビズ⑦			5	
2017/12/11	マナビズ⑧			7	
2017/12/28	望年会			22	
2018/01/15	マナビズ⑨			12	
2018/01/25	ビジネス交流委員会	「補助金・助成金の話とK-DIC見学」		10	
2018/02/21	社外重役会議	「経営環境レポートの発表と意見交換」	金谷将・今堀文博会員	12	
2018/03/12	マナビズ⑩			8	
2018/03/22	3月例会	「あなたが望む同友会の姿にするには？～参加したくなる同友会活動とは？～」	中島武司・沖田孝之会員	25	
総務委員会					
2017/04/12	2016年度会計監査			5	
2017/05/23	新会員入会式①			61	
2017/08/22	新会員入会式②			43	
2017/11/25	同友会活用塾	「同友会を通して自社の未来を描く～あなたの会社は、10年後も確実にあると言い切れますか～」 中同協 専任講師 松井清充氏	松井清充氏	23	1
2017/11/28	新会員入会式③			43	
2017/12/06	望年会			6	
2018/02/27	新会員入会式④			27	
仲間づくり協議会					
2017/05/23	協議会①			15	
2017/06/27	協議会②			15	
2017/07/12	仲間づくり例会	「会員満足度の高い同友会、その秘訣とは！？」 株式会社 サポート 代表取締役 山城真一氏	山城真一氏	55	1
2017/07/25	協議会③			15	
2017/08/22	協議会④			11	
2017/09/26	協議会⑤			13	
2017/10/24	協議会⑥			9	
2017/11/28	協議会⑦			12	
2017/12/19	協議会⑧			10	
2018/01/23	協議会⑨			10	
2018/03/27	協議会⑩			9	
政策委員会					
2017/07/25	北陸銀行との包括連携協定締結式			3	
2017/09/13	富山県信用組合との包括連携協定締結式			4	
2017/09/27	9月合同例会	「儲けと無縁の地域貢献で、売り上げ急増！～地域づくりは仕事づくり！～」	坂東秀昭会員	76	
2017/10/31	富山県商工労働部との懇談会			7	
2017/11/01	金融庁との懇談会			2	
2018/02/08	朝日町中間発表会			5	
2018/02/09	射水市条例定に向けて			4	
情報化推進本部					
2017/04/17	本部会議⑬			5	
2017/05/12	ホームページ更新説明会①			11	
2017/05/22	本部会議①			11	
2017/06/19	本部会議②			10	
2017/07/20	ホームページ更新説明会②			15	
2017/07/20	本部会議③			15	
2017/08/29	本部会議④			6	
2017/09/21	本部会議⑤			8	
2017/10/23	本部会議⑥			6	
2017/11/20	本部会議⑦			6	
2017/12/18	望年会			9	
2018/02/14	本部会議⑧			6	
2018/03/14	本部会議⑨			4	
経営労働委員会					
2017/09/20	第23期経営指針を創る会	「オリエンテーション」		37	
2017/10/14	第23期経営指針を創る会 第1講補講			13	
2017/10/21	第23期経営指針を創る会 第1講			41	
2017/11/09	合同例会	「社員7人の町工場、残業ゼロ、社員年収600万超え、週休3日を目指す経営実践とは」 株式会社 会長 吉原博氏	吉原博氏	54	1
2017/11/18	第23期経営指針を創る会 第2講			40	
2017/12/16	第23期経営指針を創る会 第3講			48	
2018/01/20	第23期経営指針を創る会 第4講			40	
2018/02/17	第23期経営指針を創る会 第5講			47	
共同求人委員会					
2017/04/07	合同企業説明会③			36	
2017/04/19	キャリアガイダンス	富山市立外国語専門学校	山口真二会員	2	
2017/04/22	学内企業説明会	「金沢学院大学学内企業説明会」		20	
2017/05/13	県外合同企業説明会in東京			23	
2017/06/21	合同企業説明会④			36	
2017/07/01	学内企業説明会	「富山短期大学学内企業説明会」		21	
2017/08/10	合同企業説明会⑤			27	
2017/08/25	県内学校との意見交換会	「2018年3月卒の採用・就職活動について」		22	11
2017/08/28	北日本新聞社との懇談会	「2017年度合同企業説明会について」		9	2

開始日	活動名	タイトル	報告者	参加人数	ゲスト人数
2017/09/12	学習会	「若者雇用促進法勉強会」		38	3
2017/09/26	学習会	「就職情報ガイドブック・求人情報サイト勉強会」		16	
2017/10/09	学内企業説明会	「富山短期大学学内企業説明会」		10	
2017/11/13	産学官懇談会	「新卒者の定着と育成を考える～学校の想い、企業の模索」石友孝・榎 総務部長、県労働雇用課 課長・ハイパー 手嶋光康さん、辻素樹氏		124	40
2017/12/27	共同求人委員会第34回総会			39	
2018/01/14	県外合同企業説明会in京都			10	
2018/02/14	富山のお仕事・業界研究セミナー			29	
2018/03/06	2018共同求人ひ入社式研修会参加企業会議			20	
2018/03/09	合同企業説明会①			30	
2018/03/16	合同企業説明会②			38	
2018/03/29	2018合同入社式	「限界に挑み続けた男～愛がうごくとき不可能が可能に～」		111	
2018/03/29	2018新入社員研修会(一泊)	「感謝できる人になろう」「感謝される人になろう」		99	
共育委員会					
2017/05/12	中堅社員フォローアップ研修会	受講生22名 企業14社		18	
2017/07/21	フレッシュマンフォローアップ研修会①	受講生54名・企業27社	沖田孝之会員	93	
2017/08/04	出張おでかけ委員会③		西島ことぎ会員	9	
2017/08/29	チャレンジリーダー研修①	受講生19名 企業18社 ㈱プロジェクトデザイン 代表取締役	福井信英氏	22	1
2017/09/28	チャレンジリーダー研修②	受講生19名 企業15社		36	
2017/10/26	フレッシュマン・チャレンジリーダー合同フォローアップ研修会	受講生50名 企業24社	東出悦子・金尾貴史会員	96	
2017/10/30	経営者大学第16期 第1講	「『地方消滅』論の検証と地方圏のビジネスへの影響」 富山大学経済学部経済学科 教授	小柳津英知氏	15	1
2017/11/10	経営者大学第16期 第2講	「話題のIoT／ICT～その課題を考える～」 ㈱ジャック経営コンサルタント	榎富雄氏	19	
2017/11/22	経営者大学第16期 第3講	「『誰と組むか』に潜むこれからのビジネスモデル」 富山大学経済学部 教授	内田康郎氏	23	1
2017/12/18	共育・経営者大学交流会			18	2
2018/02/09	中堅社員研修会(一泊)	受講生15名 企業13社		34	
新産業創造部会					
2017/07/14	総会			7	
2017/08/23	見学研修会①	岸田木材㈱、南オケ商事		6	
2017/11/07	見学研修会②	照田不動産部、㈱ジューラス現場見学		4	
2018/02/09	見学研修会及び新年会	㈱K-DIC、クリナップショールーム		5	
2018/03/08	全体会			6	
障害者問題部会					
2017/05/11	支援学校の先生方との意見交換会	学校22名 部会13名		14	3
2017/06/21	北陸地区特別支援学校知的障害教育校	PTA連合会総会での報告	作道・桑原会員・山崎事務局員	3	
2017/07/18	見学及び意見交換会	「NPO法人知的障害者のくらしを考える会」		11	1
2017/07/28	仕事見学	富山総合支援学校		2	
2017/08/04	仕事見学	富山総合支援学校		4	
2017/11/29	支援学校の先生方との意見交換会	「仕事見学会を終えて」		46	6
2017/12/01	県教育委員会へのお礼			3	
環境部会					
2017/05/15	環境経営の報告	「わが社の環境経営～事例報告」	柳沢浩・池田真一会員	7	
2017/07/07	ゼロエネルギーハウス見学会			4	
2017/08/21	広窓パッシブ型ゼロエネルギーハウス見学会報告		木原正進会員	10	
2017/10/16	環境経営の報告	「わが社の環境経営～事例報告」	道林隆宏会員	8	
2017/10/25	地域でつくろうゼロエネルギーハウス見学会			18	
2017/11/09	庄川峡観光協同組合の取り組み見学会	「庄川版地方創生」		7	
2017/11/20	環境経営の報告	「わが社の環境経営～事例報告」	中島勝喜会員	7	
2017/12/18	環境経営の報告	「わが社の環境経営～事例報告」	成伯将史会員	4	
2018/01/16	環境経営の報告	「わが社の環境経営～事例報告」	福岡秀樹会員	8	
2018/02/19	環境経営の報告	「わが社の環境経営～事例報告」	松岡雄祐会員	7	
女性部会					
2017/04/17	第31回総会 プレ例会の部	「地域創生のキーパーソンは女性達！」 ㈱松井機業 6代目見習い・南砺市 市長	松井紀子・田中幹夫氏・山田由理枝会員	62	6
2017/04/17	第31回総会 総会の部			41	
2017/08/01	同友会を知る会		桑山知子会員	18	4
2017/08/09	経理財務基礎セミナー①		金山睦美会員	47	1
2017/09/04	経理財務基礎セミナー②		金山睦美会員	40	
2017/10/04	経理財務基礎セミナー③		金山睦美会員	35	4
2017/11/26	望年会			13	
2018/03/19	石川・福井女性部合同(お食事&学習会)			6	
青年部会					
2017/04/21	第23回総会			13	1
2017/06/21	目標達成委員会①			9	
2017/07/18	目標達成委員会②			6	
2017/10/30	目標達成委員会③			4	
2017/12/12	望年会			11	
2018/01/16	目標達成委員会④			4	
F.P.会					
5月・7月・9月に富山商業高校2年生(7クラス)を対象に各月1時間の授業を担当。および同校模擬株式会社TOMI SHOPの支援。					
越中ゆうゆう倶楽部					
2017/12/16	なごら会③			13	
理事会・三役会等					
2017/04/11	常任理事会⑫新旧			12	
2017/04/18	理事会⑫新旧			31	
2017/04/18	総会運営委員会④			9	
2017/05/09	常任理事会①			16	
2017/05/23	理事会①			30	
2017/06/06	三役会①			7	
2017/06/13	常任理事会②			14	
2017/06/27	理事会②			33	
2017/07/04	三役会②			6	
2017/07/11	常任理事会③			13	
2017/07/25	理事会③			30	
2017/08/01	三役会③			6	
2017/08/08	常任理事会④			15	
2017/08/22	理事会④			29	
2017/09/05	三役会④			6	
2017/09/12	常任理事会⑤			18	
2017/09/26	理事会⑤			27	
2017/10/02	三役会⑤			9	
2017/10/10	常任理事会⑥			11	
2017/10/24	理事会⑥			22	
2017/11/06	三役会⑥			5	
2017/11/14	常任理事会⑦			12	
2017/11/28	理事会⑦			26	
2017/12/05	三役会⑦			5	
2017/12/12	常任理事会⑧			14	
2017/12/19	理事会⑧			25	
2018/01/09	常任理事会⑨			12	
2018/01/09	役員選考委員会①			10	

開始日	活動名	タイトル	報告者	参加人数	ゲスト人数
2018/01/23	理事会⑨			25	
2018/01/26	議案起草委員会①			6	
2018/02/05	三役会⑧			5	
2018/02/13	常任理事会⑩			13	
2018/02/13	総会運営委員会①			9	
2018/02/13	役員選考委員会②			7	
2018/02/13	議案起草委員会②			7	
2018/02/27	理事会⑩			30	
2018/02/27	三役会⑨			6	
2018/03/06	総会運営委員会②			10	
2018/03/06	三役会⑩			5	
2018/03/13	議案起草委員会③			7	
2018/03/13	常任理事会⑪			12	
2018/03/20	総会運営委員会③			6	
2018/03/27	理事会⑪新旧			32	
第21回女性経営者全国交流会 実行委員会					
2017/04/03	女全交実行委員会	参加促進・広報・歓迎部会⑩		14	
2017/04/04	女全交実行委員会	リーダー会議⑩		17	
2017/04/05	女全交実行委員会	総務部会⑨		7	
2017/04/10	女全交実行委員会	分科会部会 第6分科会打合せ		7	2
2017/04/10	女全交実行委員会	全体会部会 物産展打合せ		6	
2017/04/11	女全交実行委員会	「グループ長研修会①」 中小企業家同友会全国協議会 顧問	国吉昌晴氏	47	1
2017/04/12	女全交実行委員会	全体会部会⑧		12	
2017/04/13	女全交実行委員会	分科会部会⑦		12	
2017/04/21	女全交実行委員会	交流部会⑩		13	
2017/04/24	女全交実行委員会	参加促進・広報・歓迎部会⑪		7	
2017/04/27	女全交実行委員会	正副部会長会議②		9	
2017/05/02	女全交実行委員会	リーダー会議⑪		20	
2017/05/09	女全交実行委員会	「グループ長研修会②」 中小企業家同友会全国協議会 顧問	国吉昌晴氏	52	1
2017/05/09	女全交実行委員会	総務部会⑩		5	
2017/05/15	女全交実行委員会	全体会部会⑨		11	
2017/05/15	女全交実行委員会	参加促進・広報・歓迎部会⑫		6	
2017/05/16	女全交実行委員会	交流部会⑪		11	
2017/05/16	女全交実行委員会	分科会部会⑧		9	
2017/05/18	女全交実行委員会	「グループ長研修会③」		47	
2017/05/23	女全交実行委員会	「決起大会」		60	
2017/05/23	女全交実行委員会	分科会部会 第6分科会打合せ		11	2
2017/05/29	女全交実行委員会	参加促進・広報・歓迎部会⑬		9	
2017/05/30	女全交実行委員会	リーダー会議⑫		23	
2017/05/31	女全交実行委員会	交流部会・全体会部会 打合せ		13	
2017/06/02	女全交実行委員会	交流部会⑫		12	
2017/06/06	女全交実行委員会	「総決起大会リハーサル」		76	
2017/06/08	女全交実行委員会	分科会部会⑨		16	
2017/06/22	女全交実行委員会	参加促進・広報・歓迎部会⑭		4	
2017/07/07	女全交実行委員会	交流部会反省会		16	
2017/07/07	女全交実行委員会	参加促進・広報・歓迎部会反省会		7	
2017/07/11	女全交実行委員会	総務部会反省会		3	
2017/07/13	女全交実行委員会	分科会部会反省会		11	
2017/07/13	女全交実行委員会	全体会部会反省会		11	
2017/08/02	女全交実行委員会	反省会および感謝のつどい		37	
全県行事 実行委員会					
2017/04/04	17フェスタ実行委員会②			9	
2017/05/16	17フェスタ実行委員会③			6	
2017/06/20	17フェスタ実行委員会④			13	
2017/07/18	17フェスタ実行委員会⑤			8	
2017/08/07	17フェスタ実行委員会⑥			13	
2017/08/18	フォーラム実行委員会①			4	
2017/08/28	17フェスタ実行委員会⑦			10	
2017/09/01	新春のつどい①			8	
2017/09/07	フォーラム実行委員会②			5	
2017/09/22	17フェスタ実行委員会⑧			11	
2017/09/28	新春のつどい②			10	
2017/10/03	フォーラム実行委員会③			7	
2017/10/17	17フェスタ実行委員会⑨			11	
2017/10/24	とやま夢づくりフェスタ	「出展説明会①」		24	
2017/10/24	17フェスタ実行委員会⑩			8	
2017/10/26	フォーラム実行委員会④			7	
2017/10/27	とやま夢づくりフェスタ	「出展説明会②」		17	1
2017/10/27	新春のつどい③			8	
2017/11/07	17フェスタ実行委員会⑪			5	
2017/11/14	とやま夢づくりフェスタ	「出展説明会③」		21	
2017/11/20	フォーラム実行委員会⑤			3	
2017/11/30	新春のつどい④			14	
2017/12/05	17フェスタ実行委員会⑫			13	
2017/12/21	新春のつどい⑤			12	
2017/12/27	フォーラム実行委員会⑥			4	
2018/01/17	新春のつどい⑥			17	
2018/01/18	17フェスタ実行委員会⑬	反省会		6	
2018/01/31	フォーラム実行委員会⑦			6	
2018/02/26	フォーラム実行委員会⑧			7	
2018/03/01	新春のつどい⑦	反省会		11	
2018/03/27	18フェスタ実行委員会①			18	
第7次中期ビジョン検討委員会					
2017/04/14	第7次中期ビジョン④	策定プロジェクト勉強会		7	
2017/07/25	第7次中期ビジョン⑤			15	
2017/08/24	第7次中期ビジョン⑥			11	
2017/09/14	第7次中期ビジョン情報分析チーム	打ち合わせ		3	
2017/09/27	第7次中期ビジョン⑦			14	
2017/09/27	第7次中期ビジョン情報分析チーム	研修会		7	
2017/10/18	第7次中期ビジョンアンケートチーム	打ち合わせ		4	
2017/11/01	第7次中期ビジョン⑧			11	
2017/12/01	第7次中期ビジョン⑨			7	
2017/12/22	第7次中期ビジョン⑩			7	
2018/01/30	第7次中期ビジョン⑪			13	
2018/02/27	第7次中期ビジョン⑫			11	
2018/03/13	第7次中期ビジョン⑬			8	

2018年度活動方針案

中小企業をめぐる情勢

◎世界経済

緩やかな成長が続くが、勢いは鈍い世界経済

世界経済は、緩やかな成長が続く一方、先進国では賃金や物価の伸び悩みから抜け出せず、成長の勢いは鈍い状態にあります。2018年の世界経済成長率を、国際通貨基金（IMF）3.9%世界銀行3.1%、経済協力開発機構＜OECD＞3.7%と予測しています。

アメリカ：景気拡大局面が続いているが、政権の経済政策や利上げ影響などが不安材料。大幅減税が景気を押し上げ利上げが加速する可能性が高まっている。

ユーロ圏：経済成長率が2017年2.5%と緩やかな成長が続いているが、リスク要因は、英国EU離脱交渉動向・スペインカタルーニャ州独立問題・反EU勢力動向など。

中国：2017年経済成長率6.9%で、輸出好転や政府のインフラ投資拡大が寄与して7年ぶりに前年を上回っている。一方、企業・個人の借金依存も深刻で、IMFが警告するなど世界景気のリスク要因の懸念も。

アジア新興国：中国の景気減速が響き2017年6.0%→2018年5.8%へ減速の見込み（アジア開発銀行）。アメリカの利上げの動き等を受け、投資資金流出も懸念され動向に注視が必要。

地球環境問題への対応

地球温暖化に歯止めがかからない中、「パリ協定」を運用するルールづくりがCOP23（第23回国連気候変動枠組み条約締結国会議）で論議、各国の本格的な対応が求められています。

平和をめぐる課題

世界各地で内戦や紛争・テロが頻発。北朝鮮は韓国・米国との首脳会談へ向かってはいますが、引き続き予断を許さない情勢です。一方、国連では核兵器禁止条約が採択されるなど、世界各地で様々なことが起こっています。未来にむけて平和のあり方について論議すべき時ではないでしょうか。

◎日本経済と地域経済

「戦後2番目の景気拡大」も乏しい実感

内閣府発表の景気動向指数では、景気拡大局面が戦後2番目の長さを示しています。実質成長率は年平均1.4%。いざなぎ景気（1965～1970年）の11.5%の水準には及ばず、「実感なき景気拡大」と言われた「戦後最長景気」（2002～2008年）の1.7%に近いものです。欧米が金融引締めを舵をきる中、日銀の金融緩和政策は継続。出口戦略が大きな課題です。2017年経済成長率は実質1.6%、名目1.4%。伸びは外需（輸出）主導で、内需（個人消費）は引き続き力強さを欠いています。

上場企業：2017年9月中間期（連結ベース）最終（当期）利益合計は、前年同期比で約23%増と過去最高を更新。2018年3月期通期の見通しも営業利益合計と最終利益合計が過去最高（16年3月期）を上回る見込み（SMB C日興証券調べ）。

世論調査：NHK（2017年11月）、景気回復を実感している6%・実感していない64%。朝日新聞社、景気回復を実感していない82%（まったく実感していない33%＋あまり実感していない49%）

2017年実質賃金：前年比0.2%減で2年ぶりマイナス。2017年平均消費支出：実質0.3%減で4年連続マイナス。

金融資産：ゼロ世帯 31.2%（2人以上世帯）で過去最高、金融資産増世帯 28.6%と増加し格差拡大。
（金融広報中央委員会調査）

中小企業は人材不足への対応が重要課題に

政府は「働き方改革」、「生産性革命」などを推進。企業は、残業時間の上限規制、非正規労働者に対する同一労働・同一賃金、60時間超の残業に対する割増率のアップなどへの対応が求められます。

さらに民法改正に伴い、有給休暇や未払い賃金の時効を5年とすることも検討されており、しっかりとした備えが必要となります。

2017年完全失業率は2.8%と23年ぶりに3%を切り、有効求人倍率も1.50倍と0.14ポイント上昇。求人に対する充足率は15.2%で1963年統計開始以来最低を記録し、昨今の人材不足を裏付けています。人件費や仕入れ価格上昇による中小企業の採算悪化も続いており（日銀調査）、人材不足への対応は中小企業の重要課題です。経営指針に労働環境改善を位置づけ、労使が力を合わせ魅力ある企業づくりに取り組むなど、「労使見解」に基づく企業実践が一層重要な時代を迎えていると言えます。

中小企業経営者の高齢化が進む一方、後継者難が深刻化、廃業増加が懸念されています。経産省は25年頃までに雇用で650万人、GDPで22兆円が失われる可能性があるとして試算。事業承継が社会的にも大きな課題となってきました。

深刻な人手不足を背景に、外国人労働者数は127.8万人（厚生労働省2017年10月末時点）で、前年同期から18%増と5年連続で増加。政府は外国人就労の拡大を検討する方針です。

内訳：①専門的・技術的分野約23.8万人、②身分に基づき在留する者（永住者など）約45.9万人、③技能実習約25.8万人、④特定活動約2.6万人、⑤資格外活動（留学生のアルバイト等）約29.7万人。

大きな転換が進む地域金融を巡る動き

日銀のマイナス金利政策は、国内民間金融機関の収益を悪化させています。金融機関が資金調達する際の調達金利がほぼゼロのなかで、金融機関は貸出金利の低下により収益を大きく減少させています。また、運用先としての国債も収益は確保できていません。人口減少、低金利の長期化などにより、2024年度には約6割の地方銀行が本業赤字となる見通しが示されています。

そうした中で、金融庁は「事業性評価」を重視する政策に大きく転換しました。事業性評価とは、「財務データや担保・保証に必要以上に依存することなく、借り手企業の事業の内容や成長可能性などを適切に評価し、融資や助言を行い、企業や産業の成長を支援していくこと」です。金融庁では、地域金融機関の金融仲介能力を客観的に評価するための55項目の評価指標「金融仲介機能のベンチマーク」を策定し、5つの共通項目については地域金融機関に対して指標の提出を求めるとともに、50項目の選択項目についても自主的な開示を促すことで、顧客が指標をもとに金融機関を選択できるようにするものです。地域金融機関と中小企業が「深度のある対話」により関係を強化し、それぞれの企業努力と連携によって地域経済を担うことが期待されます。

人口減少・高齢社会と地域再生・活性化

人口減少・高齢化が進む中、地方の再生・活性化が大きな焦点です。中小企業の存在が、地域存続に一層不可欠となり、地域社会の担い手の中小企業振興こそが、地域の真の再生につながると言えます。

広がるエネルギーシフトの動き

日本のエネルギー自給率は6%（2013年）。地域経済の再生、本格的なエネルギーシフト時代に向けて、政策的強化が求められています。

国際再生可能エネルギー機関（IRENA）によれば、再生可能エネルギーの発電コストは2010年

からの7年間で大幅に下がり、世界平均で太陽光73%、陸上風力23%下落。2020年までに太陽光コストはさらに半減の可能性があります、一部の太陽光と陸上風力は、火力発電より安くなると予測。世界銀行は石油や天然ガス事業への資金提供を2019年で打ち切ると発表。再生可能エネルギーへの移行を促すねらいです。

多発化する自然災害と復興への課題

台風や集中豪雨、火山の噴火などによる自然災害が多発し、大きな被害を生んでいます。気象庁によれば、大雨が降る頻度は30年前に比べ3割増となっています。政府の地震調査委員会による「全国地震動予測地図」でも震度6弱以上の地震が起こる確率が僅かながらも高まっており、「事前防災」などの取り組みが一層重要になっています。

急速に進む技術革新、第4次産業革命

人口知能（AI）やIoTなどによる第4次産業革命の実現に向け、経済産業省は「新産業構造ビジョン」を発表。第4次産業革命の進展は、産業構造や雇用などへの大きな影響が予測されます。技術革新・デジタル化の進展を背景に、共有型経済（シェアリングエコノミー）も広がりを見せており、さまざまな領域で「所有から利用へ」、「モノからサービスへ」の転換が生まれています。企業にとっても自社の事業領域を再定義することが強く求められています。

イギリスとフランスは2040年、ドイツとインドは2030年までに、ガソリン車やディーゼル車の新車販売を禁止する方針を発表。中国も2019年に自動車メーカーに10%の新エネルギー車（NEV）の製造・販売を義務づける方針を打ち出しています。電気自動車はガソリン車に比べて部品点数が約10分の1になると言われ、幅広い業種への影響が予想されています。

同友会型企业づくりで地域（富山）の再生を

全国同友会景況調査（DOR、2017年10-12月期）では、2017年は景気好転が継続、反面2018年初頭は業況判断DI等すべてで悪化予想で潮目変わりの兆候もみられます。

地域の疲弊などが進む中、中小企業の存在意義がますます高まります。同友会型の企業づくり、地域づくりの実践に対する社会的期待が一段と大きくなってきています。私たちも富山の企業家として大いに確信を持ちながら、企業と同友会での実践にまい進していきましょう。

2018年度活動スローガン（案）

創ろう！自社と地域の10年ビジョン

同友会理念「三つの目的」「自主・民主・連帯の精神」「国民や地域と共に歩む中小企業」の三つを、会員それぞれがどこまで腹に落とし実践するのか！

大きなテーマではありますが、日本そして地域の少子高齢化への対応として、私たち中小企業家がこの実現に向け大きく舵を取ることが求められている時代となりました。

中小企業は日本の企業数の99.7%を占め、就労人口の80%を雇用しており、まさに日本経済の屋台骨です。

これからの第4次産業革命の進展は、働き方改革、生産性改革、仕事づくり改革を進めなければ、「仕事なくなる、企業がなくなる」と警鐘を鳴らしています。

私たちができることは、「百年企業、持続可能な企業とは？」という問いかけに対し、具体的に一つ一つ答えを出しながら前進することです。経営理念にもとづいた10年ビジョンを確立し、持続可能な企業に向けた一步を踏み出しましょう。1人の100歩より、100人の仲間が共に踏み出す一步が大きな力になります。

同友会は自社と地域を真剣に学び、実践する経営者団体です。一社一社が主人公になり、地域づくりの本流になっていきましょう！

※確立：物事の基礎・立場・方針などをしっかり決めること。不動のものとして定めること。

取り組み課題

①経営指針の実践に踏みだそう

経営指針の確立と実践は同友会運動の重要な柱です。

まずは成文化に取り組み、さらに、全社実践を強め、強靱な企業をつくりまします。

②強みを活かし、新たな仕事づくりを

自社の強みを活かして、将来の柱となる新規事業開発に取り組みまします。

会員相互の連携に始まり、産学官金連携など外部支援機関とも積極的に交流します。

③環境変化に対応した強靱な企業づくりを

どんな経営環境にあってもつぶれない企業づくりが、地域から求められています。

情勢を大局的な視点でとらえ、変化への対応能力のある企業づくりを進めます。

④支部会員の絆を強め、切磋琢磨しよう

顔が見え、経営が分かる支部組織をつくり、互いの仕事内容や経営課題、将来展望などを交流しましょう。仲間との絆を深め、切磋琢磨できる組織づくりを進めます。

⑤学びあう場を充実させよう

同友会で学んだことは、自社で実践することで、確実に会社は変革されていきます。

「労使見解」に学び「経営指針」「共同求人」「社員教育」に取り組みまします。

⑥社員と共に成長し、全社一丸となれる企業づくりを

全社的な目標を社員が理解納得して取り組むことは、企業変革や外部からの評価につながります。社員の個性や自主性が発揮できる社風づくりを進めます。

⑦強い組織と安定した財政基盤を

同友会の認知度を高め、中小企業の社会的地位を向上させるには、地域での企業組織率10%を目標とします。また、そのことで安定した財政基盤を確立します。

⑧新たな産業の創造で、元気な地域をつくろう

「仕事があり、安心して子供を産み育てることができ、将来に夢と希望がもてる地域」をつくるために、地域の特性を活かした新たな産業の創造に取り組みます。

⑨全ての市町村で中小企業振興基本条例の制定を

中小企業が、地域からあてにされ、地域を担う存在として光り輝くために、他団体とも連携して、全ての市町村で中小企業振興基本条例の制定に取り組みます。

○運動推進の役員（リーダー）と運動を広げるセンターの事務局機能を強めます

新たな経営や運動課題に取り組むには、役員は、同友会理念の体現者として常に学ぶ先頭に立ち、事務局は、期待に応えられる機能の強化が求められます。役員の意識と資質を高めるための学習や、事務局の体制・業務改善・労働環境整備などを進めます。

支部活動の目的と位置づけ

同友会の運動（活動）を進めるにあたり、支部は、基本的な学びの場である例会を行う基礎組織と位置づけられます。さらに「経営上の夢・目標を実現したい、現状の悩みや課題を解決したい」という経営者特有の願いに応える場という役割があります。

同友会は、都道府県ごとの単一組織体ですから、支部の運営で大切なことは、各同友会の基本方針をふまえて、支部活動をすすめることです。支部においても、支部全体会で役員を選出し、活動方針を決め、同友会理念にそった運営をすすめるべきであることはいうまでもありません。

支部活動をすすめる上で重要なことは、リーダーが常に全県的大局観で支部運営にあたることです。

その地域や支部だけの利害を中心に考える狭い発想で県全体の方針と対立することは絶対にあってははいけません。もし、支部と県本部との間に意見の食い違いが生じた場合、同友会運動の基本理念に立ち返って徹底した話し合いを行い、解決していくことです。そのためにも、支部役員は、全県レベルでの役員交流によって、常に認識の一致をはかることが大切です。

支部活動を補完するグループ活動は、形態はさまざまですが、“知りあい、学びあう”ゆるやかな基礎交流の場です。ここでもリーダーの役割が決定的に重要です。

支部活動もその発展段階に応じて総合的な活動を展開することが必要になってきています。県と対応した専門委員会、部会の設置や支部センターの開設も考えられます。他県の先進例にも学びながら活動の視野を広げ、地域社会の発展に貢献する壮大な支部づくりをすすめましょう。

（同友会役員のテキスト「同友会運動発展のために」より一部抜粋）

委員会・部会活動の目的と位置づけ

	部署	活動のねらいと方針	2018年度の活動内容
委員会活動	強 韌 な 経 営 体 質 を つ く る	経営労働 企業の存続と発展に不可欠な、経営者と社員が心をつなげる企業づくりを進めます。 特に、経営者の責務である、自社の社会的存在意義や目的を明確にする経営指針の確立・成文化を進めます。 ①「経営指針を創る会」の開催 ②労務労働問題の学習・交流	月1回の委員会 経営指針を創る会 学習会 経営計画づくり
		共 育 “企業は人なり”と言われるよう、人間的格差がそのまま企業間格差となる時代です。社員一人ひとりの創意や自主性が発揮できる、“共育＝共に育ち合う土壌づくり”を目指します。 ①社員研修の実施 ②支部との連携で共育理念を広げる ③経営労働・共同求人委員会等との連携で三位一体を進める	月1回の運営委員会 ①フレッシュマン研修 ②チャレンジリーダー研修 ③中堅社員研修会 ④マネジメント研修会 ⑤経営者大学
		共 同 求 人 共同の力で、優れた人材の発見と育成を進めます。2018年度(11月1日～10月31日)の募集は終了しました。2020年春卒採用対象の2019年度の募集は9月初旬に行います。 〔活動の三本柱〕 ①人材採用活動 ②人材育成活動 ③企業体質改善活動 * 新卒求人へ準備段階の企業も学習会参加という形でご参加頂けます。	・合同入社式、研修会 ・合同企業説明会 ・Jobwayで情報発信 ・学校訪問、産学懇談会
	活 動 基 盤 を 強 め る	総 務 会運営の要として、同友会理念の普及および安定財政を確立します。 ①役員研修会で同友会理念(考え方)や活用法を会員に普及し深めます ②健全財政確立のための提言を行います ③新会員オリエンテーションのフォローや、委員会時に制度等の学習会を実施します	月1回の委員会 ①役員研修会 ②グループ長研修会
		政 策 中小企業の経営環境を良くするための取り組みを進めます。 今年度は以下の取り組みを進めます。 ①中小企業地域振興条例の制定をめざす諸活動。 ②中小企業をとりまく政策課題を学習することで政策提言に結びつけます。	月1回の委員会 学習会 景況調査の実施 各市町村の中小企業施策の調査等
		情 報 化 推 進 本 部 各部署と協力し、情報の収集・蓄積・交流・活用・発信等を組織的・戦略的に進めます。 今年度は情報活用の3つのチームを作り役割分担して進めます。 ①情報発信チーム・・・会報・ホームページ・SNSなど(活動の報告を中心に) ②マスコミ・行政対応チーム・・・プレスリリース・定期訪問など ③会員間情報交流チーム・・・e-doyu活用、会員DB活用など	月1回の会議
部会活動	障 害 者 問 題	新しい仕事づくりへの取り組み 同友会理念が示す「人間尊重の企業づくり」の実践の一環として障害者への理解と雇用の機会を広げるための活動を進めます。 ①雇用への理解と協力を広げる為の「啓蒙と支援活動」の研究 ②諸団体や学校などとの交流 ③新しい仕事づくりへの取り組み	月1回の部会 支援学校生の仕事見学 雇用に関する学習会や例会 支援学校・作業所などの見学
	環 境	環境保全型企業づくりを全支部に広げていきます。 新しい商品開発やサービスなどに繋がるように、会全体の交流連携の活動を活発にし最終的にはビジネスにつながる展開を視野に入れて活動を進めていきます。	参加者募集と組織体制づくり 年度テーマに基づく見学会 環境経営の報告会
	青 年	40歳以下の若い会員や後継者の学びの場として、自身と企業の変革について様々な角度から掘り下げます。 ①青年経営者の資質向上をテーマにした例会および学習会の実施 ②他県・他団体の青年経営者および青年部会との交流	月1回の運営委員会 例会・学習会 * 月会費1,000円
	女 性	女性経営者・経営者夫人が互いの立場を尊重しながら、経営者としての資質の向上と人間的な成長を目指した活動を進めます。 ①同友会理念の総合実践をめざした例会の実施 ②経営課題をテーマにした学習会の実施	月1回の運営委員会 例会・学習会 * 月会費1,000円
	F P	富山商業高校での授業の実施のため、講師の育成に取り組みます。 あわせて、模擬株式会社「TOMI SHOP」への関わりを強めます。	富山商業高校での授業 模擬株式会社「TOMI SHOP」の支援

〔個別方針〕 その１－支部

城南支部

スローガン		自社を語ろう！
よい会社をつくろう	①経営指針の実践に踏みだそう	・自社の方針発表会に仲間を呼べる会社を目指します ・10年ビジョンを持ち、それをいつも示し、日々行動することができる社風づくりに取り組みます。 ・経営者としての第一歩は経営指針づくりとその実践です。「理念を創る会」を開催します
	②強みを活かし、新たな仕事づくりを	・自社の現状を分析しつつ、将来社会がどのように変化するのかを読み取り、新たな事業・商品の開発に役立てます。 ・取り組みの一つとして、富山夢づくりフェスタへの参加を通して、自社の強みを再発見します。
	③環境変化に対応した強靱な企業づくりを	・将来社会がどのように変化するのかを読み取り、将来の経営環境の変化に対する心構え・準備に役立てます。
優れた経営者になろう	④支部会員の絆を強め、切磋琢磨しよう	・全会員が参加できる支部会を目指し、参加しやすい雰囲気づくりに取り組みます。
	⑤学びあう場を充実させよう	・外部講師からの学び及び仲間同士の教え合いの両輪での学びの機会を持ちます。
	⑥社員と共に成長し、全社一丸となれる企業づくりを	・自社の10年後のビジョンを持つことを目指します。 ・社員と共に10年後のビジョンを語り合い共有し深めます。
よい経営環境をつくろう	⑦強い組織と安定した財政基盤を	・人を誘いたくなるよう支部会を目指します。 ・会員同士の交流を深め、強い団結力を育みます。
	⑧新たな産業の創造で、元気な地域をつくろう	・富山夢づくりフェスタを盛り上げます。
	⑨全ての市町村で中小企業振興基本条例の制定を	・例会・支部会に行政や他団体を誘います。
その他	⑩独自の取り組み	・年に1回は全国大会に参加し、全国のレベルを肌で体験することを勧めます。 ・今年度は、7/19-20全国総会in宮城と一緒に参加しよう ・経営環境レポートを年に1回は作成し、時代の変化と経営課題を明確にし、行動に移しましょう。

城北支部

スローガン		仲間の夢を応援し合い、日本一つながりの強い支部にしよう！
よい会社をつくらう	①経営指針の実践に踏みだそう	◎理念経営を広めよう！ ○経営理念を成文化した会員同士、理念型経営をともに推進します。 ○経営理念を成文化していない会員へ、成文化の後押しをします。 ○理念塾を根本から見直し、新しい取り組みに挑戦します。
	②強みを活かし、新たな仕事づくりを	◎会員同士の関係を深めよう！ ○自社、自分自身を語り合う場や、経営談義などお互いを知り、情報を共有し、新しい仕事づくりのネットワークを築きます。
	③環境変化に対応した強靱な企業づくりを	◎内部、外部環境を踏まえて、自社事業、経営の展望を語る会員を増やし、全会員が黒字体質企業になることを目指します。 ○雑学探求会など、学習会形式で環境変化に関わる勉強会をします。 ○本気の10年ビジョンを語る経営者にこだわっていきます。
優れた経営者になろう	④支部会員の絆を強め、切磋琢磨しよう	◎会員にとって身近な支部づくりに務めます。 ○ジャムの参加を促進しつづけます。 ○会員同士の関係を強くすることで、情報を共有し、夢に向かって行動する仲間を目指します。
	⑤学びあう場を充実させよう	◎同友会を知って活用しよう！ ○たくさんの方々が、参加したくなるジャムに進化させていきます。 ○部会、委員会などのつながりを濃くし、ジャムに反映させていきます。 ○練習の場としてのジャムの枠を超え、本番・発表を意識した「LIVE」が出来る環境づくりをします。
	⑥社員と共に成長し、全社一丸となれる企業づくりを	◎社員と共に10年ビジョンを描ける会社になろう！ ○支部活動に社員を参加させやすい雰囲気や、働きかけをします。 ○「夢を語る経営者」を目指し、互いに実現に向けて語り合える環境づくりをします。
よい経営環境をつくらう	⑦強い組織と安定した財政基盤を	◎ロマンとそろばんを意識した同友会活動を考える。 ○理論優先だけでなく、行動に反映する活動を企画します。 ○黒字体質企業と本気の夢に、こだわっていきます。
	⑧新たな産業の創造で、元気な地域をつくらう	◎自社にできることを持ちより、新しい可能性を創りだそう！ ○ジャムの経営談義をはじめとして、お互いを知る機会を増やし、新しい仕事づくりやネットワークを築ける受け皿になります。 ○「語ることで気づく」を意識し、自社プレゼンを企画します。
	⑨全ての市町村で中小企業振興基本条例の制定を	◎自社の課題と、地域の課題につながりをみつけたらそう！ ○地域振興基本条例を、わかりやすく学習できる機会をつくり出します。
その他	⑩独自の取り組み	○オープン参加のジャムを活用し、新入の会員さんも話しやすい環境づくりをする。 ○支部を支える次の世代を、育成できる仕組みを確立する。 ○”自主的に行動する”ということを重点にしていこう。 ○PDCAを意識した運営計画を行い、活動の成果を全員が共有し、次世代につなぐ支部活動を行います。

新川支部

スローガン		労使見解に基づき、模範となる支部をめざそう！
よい会社をつくろう	①経営指針の実践に踏みだそう	・「指針入門」の受講者（特に、入会1～2年の方には受講を促す）を増やし、受講後は県の「経営指針を創る会」への参加を促します。 ・参加者による全体会や例会での「理念の発表」を、定例化していきます。 ・指針の実践状況や課題・問題点などを報告し合う場を設けます。 ※企業訪問・新川塾の学びの場などを活用 ・2年後には、経営指針を実践して強靱な経営体質を目指す会員を増やし、5年後・10年後の会社の方向性が語れるような学びを行います。
	②強みを活かし、新たな仕事づくりを	・商倍交流会は、旬な話題の勉強会などを通して会員の連携や知識向上を目指します。
	③環境変化に対応した強靱な企業づくりを	・「同友会で学ぶと会社が黒字になる！」と実感できるよう、強靱な黒字体質の企業づくりに向けて学び合える例会づくりに取り組みます。
優れた経営者になろう	④支部会員の絆を強め、切磋琢磨しよう	・昨年度からスタートした、新川塾（学びの場＋議事の2部構成）を継続します。特に、「学びの場」（環境レポートの発表と意見交換）は、実践に結びつくよう内容の充実をはかり、ます。 「議事」は、出来るだけ効率化し幹事以外の会員も気軽に参加いただける場にします。
	⑤学びあう場を充実させよう	・「参加するのが楽しい！待ち遠しい新川塾」づくりに取り組みます。 - 自社の置かれた経営環境を考えます。 ・隔月で会員の企業訪問を行い、多くの会員企業を訪問します。実施に当たっては、担当会員を決めて、訪問先などの打ち合わせをして進めます。
	⑥社員と共に成長し、全社一丸となれる企業づくりを	・指針の実践には、社員との共有や学び合いが必要です。社員が参加しやすい社員も主役になれる支部活動づくりに取り組みます。環境レポートの発表時社員さんの参加も促します。
よい経営環境をつくろう	⑦強い組織と安定した財政基盤を	・純増3名を目指します。 ①例会だけでなく、すべての活動にゲストを誘い合います。 ②例会後「同友会を知る会」を計画的に開催します。
	⑧新たな産業の創造で、元気な地域をつくろう	新川地域の行政との関係づくりに取り組みます。
	⑨全ての市町村で中小企業振興基本条例の制定を	
その他	⑩独自の取り組み	現在、例会・知る会など、ほとんどの開催場所は魚津市中心になっていますが、内容や参加者など状況にあわせていくことも検討していきます。

高岡支部

スローガン		創ろう！！自社と地域の10年ビジョン
よい会社をつくらう	①経営指針の実践に踏みだそう	高岡・射水・氷見3支部合同で理念塾を開催します。 理念塾や経営指針を創る会の受講を奨めます。 理念塾は課題取組を多くの助言者で応援し、気付きにつながる支援をして経営理念の成文化を目指します。 昨年は未達でした受講後のフォロー研修を行います。 実践報告をグループ会・例会で行い、共に学び、実践に踏み出す機会を増やしていきます。
	②強みを活かし、新たな仕事づくりを	グループ会での企業訪問や経営環境レポート作成・報告・意見交換や同友フェスタ参加で自社を再認識して、強みを磨き、新たな仕事づくりに繋がる機会を作ります。 また、幹事会後半での「自社の10年ビジョンを語ろう」や同友フェスタの参加会員が企業間連携から新しい仕事づくりに繋げていく場づくりを行います。
	③環境変化に対応した強靱な企業づくりを	就業・定住人口の減少による顧客減少、若年層の減少が求人を困難にしています。少子高齢化社会の対応はすべての会員の課題です。 IoT、AI、などの技術革新、エネルギー問題などに予測対応するためには的確な経済環境状況を知ることや事例から学び、大局的な視点を持ち長期ビジョンを創ることが不可欠です。 会員企業の10年ビジョンの策定を支援し、報告や意見交換を行います。
優れた経営者になろう	④支部会員の絆を強め、切磋琢磨しよう	高岡支部はより地域に密着した活動をするために東西2地区会制から東・西・南の3グループ制へ移行して会員の絆を強めていきます。 互いを知る、顔の見える、少人数グループ会を自主的に開催します。 また入会歴の浅い会員の同期会やベテラン会員のプラチナクラブでの活動を通して絆を強めます。
	⑤学びあう場を充実させよう	身近なグループ会で新会員を中心に経営環境レポート報告と意見交換を行い各自の学びの場を提供していきます。 各グループが1回担当する例会では企画から報告者選定、リハーサル、例会運営を通して学び、ていねいな例会づくりを行います。 幹事会後半では『自社の10年ビジョンを語ろう』、全県専門委員会報告など多くのテーマから学びあう場を作っていきます。
	⑥社員と共に成長し、全社一丸となれる企業づくりを	同友会での学びを自社に持ち帰り、社員と共に実践。そしてPDCAを回し成長する会員が多くなるようにグループ会の企業訪問で会員同士が互いに励まし合い、気づき合う、将来は実践の検証を互いに行うグループ会を目指します。
よい経営環境をつくらう	⑦強い組織と安定した財政基盤を	昨年度は13名の仲間が入会しましたが会員数105名の目標未達でした。今年度も再挑戦します。ゲスト訪問と「知る会」を定期的に開催して地道に仲間づくりを行います。 会員フォロー担当とプラチナクラブの活動で入会2年目以降の会員がより多く活動に参加してもらえるようにしていきます。 自主運営の推進と「e-doyu」の活用推進・ペーパーレス化への対応・事務局の労務負担軽減に努めます。
	⑧新たな産業の創造で、元気な地域をつくらう	第3回同友フェスタでは「人を活かす経営」の実践発表の場として自社PR、企業連携、共育、求人、地域連携など各企業のテーマから元気な企業が元気な地域をつくる機会となるように参加を促進します。 支部会員はモノづくり関連業が多く、グループ会での企業訪問が互いの仕事を知り、連携から新しい仕事や産業の創造の事例ができる機会づくりを増やしていきます。
	⑨全ての市町村で中小企業振興基本条例の制定を	2018年3月に富山県中小企業家同友会から高岡市への提言書：「産業振興による財政再建」を基盤とした産業振興策に協力します。 高岡市中小企業振興委員会委員に会員が参画できるように学習と実践と渉外を実施していきます。 地域で存在感のある組織になるためにも、会員数100名強の達成を目指します。
その他	⑩独自の取り組み	ベテラン会員のよるプラチナクラブを昨年創設しました。 クラブ会員の交流と「事業承継」をテーマに研修会を開催しました。 引き続きクラブ会員向け研修会の実施と若手会員との交流も行っていきます。

射水支部

スローガン「学びあうこと・語り合うこと を深め合う」

射水支部が設立されて半年がすぎました。市の一体化という思いの下進めてきた活動ですが、本年度は、学校関係者・地域経済団体との係わり合いを深めていきたいと考えております。特に中小企業振興条例においては、商工会議所・商工会との連携は必須であり、是非今後の交流を深めていきたいと思ひます。

射水支部では、本年度は「学びあうこと」「語り合うこと」を深め合う活動を行っていききたいと思ひます。

活動方針

本年度は、経営委員会による理念塾・指針を創る会には、延べ4名以上の受講を予定します。

仲間作り委員会の「同友会を知る会」は年間3回の開催を目指します。

会員活性化委員会の「経営環境レポート」には10年ビジョンの策定も含めて年4回延べ8名の発表を目指します。

例会を4回 一つには支部全体会、一つは学校関係者をゲストに招いての共同求人例会、一つは経営者団体をゲストに招いての経営労働例会を行いたいと思ひます。もちろん金融関係者も招きたいと思ひます。後の1回は、中小企業振興条例としたいと思ひます。

氷見支部

スローガン「もっと楽しく、もっと深く学び合おう」

設立より半年がすぎましたが、今年度も昨年度と同様、経営環境レポートの作成と発表を進めたいと思ひます。また、同友会で学んだ成果の検証として支部例会を開催します。

そして、そうした活動を通じ同友会の良さを発信し、氷見に仲間の輪を広げていききたいと思ひます。

となみ野支部

スローガン		10年後のあるべき姿のために今やるべきことを実践する！
よい会社をつくろう	①経営指針の実践に踏みだそう	経営指針の成分化は、あらゆる意味で最重要課題と考えています。自社においてはもちろんのこと、同友会活動においても重要です。経営指針を受講するという事は、深く同友会を知ることにつながり、支部運営を良くするためには不可欠です。4年後の新支部設立のためにも、指針受講者を3人以上は送り出したいと思います。
	②強みを活かし、新たな仕事づくりを	本年度は、社外重役会議を毎月行います。会員同士を良く知り、あらゆる業種を深く学ぶことにおいて、自社の新たな仕事づくりや会員同士の新たな仕事づくりにつながると考えております。更にビジネス交流委員会も活発に活動し、更に新しい仕事づくりにつなげていきます。
	③環境変化に対応した強靱な企業づくりを	自社が置かれている環境を、定期的に振り返る事は経営者にとって、とても重要な仕事だと考えています。そのためには、まずは自社の経営環境レポートの作成と発表に取り組む事が必要だと考えています。毎月行う社外重役会議の開催を通して、自社を振り返り、また、参加者から違った立場で意見・質問・アドバイスをもらう事は、とても貴重な機会です。多くの学びと気づきのチャンスがそこにあると思います。是非、新たな会員の方には積極的に取り組んでもらいたいと思います。今年度は既存会員と新会員両方に報告していただく場を創っていきます。
優れた経営者になろう	④支部会員の絆を強め、切磋琢磨しよう	同友会は、経営を深く勉強することが目的であると思いますが、会を理解する前に休眠会員になったり、退会される方がいるのが現状ではないかと思っています。したがって、懇親の場を設けるということは非常に意味のあることだと思います。行事ごとに懇親の場を設け、真剣な話し合い・楽しい懇親を両立していきたいと考えます。
	⑤学びあう場を充実させよう	今年度はオープン例会は年2回、社外重役会議は年12回を予定しています。今年度からは、委員会制度を導入し、役割をしっかりと決めることで、各種行事を充実したものにしていきたいと考えております。10年後のあるべき支部の姿を話し合いましたので、そこに向かう第一歩の1年という位置づけで、役割を明確にしました。
	⑥社員と共に成長し、全社一丸となれる企業づくりを	全社一丸となる企業をつくるには、まずもって経営者の成長しかないと考えますが、同友会としてお手伝いするとすれば、幹部社員に例会及び社外重役会議に参加していただき、他の経営者から助言していただくことだと思います。全く同じことを言っても、自社の社長から聞くのと他社の社長から聞くのでは、受ける方は全く違うと思います。以上のことから、例会及び、社外重役会議は全てオープンとします。
よい経営環境をつくろう	⑦強い組織と安定した財政基盤を	”4年後に南砺支部を設立する”ということを支部会員全員の知るところとして活動をしていきます。これもただ新支部をつくるということではなく、10年後のあるべき姿から南砺支部が必要だと思い、皆で決定したことでもあります。新支部設立に向けて南砺会員は最低40名、内指針受講者は15名（3年後）など、明確な目標を定めて活動していきます。
	⑧新たな産業の創造で、元気な地域をつくろう	今年度から取り組む新たな活動が2つあります。これも10年後の話し合いから出たものですが、いずれは職業訓練学校のようなものの設立が、同友会主導で行われれば良いというものでした。そこにつながる事業として、まずは富山商業で行われている授業を、となみ野にある高校・中学校で行う委員会です。元気な地域を創るための第一歩です。そして、2つめが会内の報告及びグループ討論が同友会のスタンダードです。このスタイルはもちろん多くやっていきますが、これ以外に、大学の講師を招くなどの委員会を発足しました。この新しい2つの委員会により、より活発な同友会活動になると思います。
	⑨全ての市町村で中小企業振興基本条例の制定を	南砺市の後、小矢部市でもこれまでの活動が実り、中小企業振興基本条例の制定にいたりしましたが、今後はこれまでの活動で得られた気づきと学びを、残る砺波市にも展開していきたいと考えています。砺波市内の青年経済団体(JC、商工会議所青年部)と連携し、振興条例策定に向けて勉強会や懇談会等を企画・開催していきたいと考えています。
その他	⑩独自の取り組み	新しい取り組みとしては、 ・社外重役会議を見直し、年12回開催（専門委員会設立） ・全県のFP部会のような委員会を発足。まずはとなみ野内の中・高生にむけての授業を中心に行います。いずれは、となみ野内での共同求人（高校生対象）や職業訓練学校などにつながるように・・・（専門委員会設立） ・会外の講師を招いての勉強会（専門委員会設立）

〔個別方針〕 その2－情報化推進本部

＜e-doyu の利用促進＞

将来的なペーパーレス化に向けて、富山同友会の情報資産 e-doyu の利用率を上げることに力を入れます。そのためには、未ログイン人数や出欠未登録者の人数を下げることを目標とします。また、総務委員会との協力を強め、支部活動などとも連携し、活動していきます。

＜ホームページ＞

ホームページに関しては、業者さんとも協力をしていきながら進めます。また、委員会、部会のHP更新作業をサポートします。

＜IT 経営の促進＞

働き方改革を促進するために、IT 利活用を促進します。WEB 会議やクラウドでのデータ活用を推進していきます。特定の支部でトライアルを行います。

〔個別方針〕 その3－総務・仲間づくり・政策

◆ 総務委員会

課題⑤ 中同協の松井専任講師をお迎えしての研修会を定期的に行い、中小企業を取り巻く情勢と時代認識から経営課題を学びあいます。

課題⑦ 新会員入会式を更に充実させ、辞めない組織づくりを行い活動の充実と安定した財政基盤を作ります。

課題⑩ 事務局員が安心して無理なく働けるよう、各支部や委員会等と連携を図り、業務改善と環境整備を着実に進めます。

歴代代表理事による討論会を実施し、同友会の歩みとこれから活動について熱く語っていただき、次世代のリーダーとなるメンバーを育成します。

◆ 仲間づくり

会員増強は、理事が中心となり、毎年 20 名純増できる活動を全方面に推進します。

仲間づくり協議会にかえて、「三役支部長会議（三役・支部長・事務局で構成）」で増強への取り組みを検討します。

◆ 政策委員会

同友会会員と外部機関との一層の太いパイプ役を目指して！

経営者は経営責任を果たすべく努力をしていますが、自社だけではどうしても解決できない問題や課題がたくさんあります。その解決のためには、私たち中小企業の生の声を行政などに伝えていく必要があります。2018 年度委員会では、同友会活動の中で外部機関との交流を図り、多岐にわたる要望をまとめ、良い経営環境や地域づくりに向けてのパイプ役を目指します。

1. 富山同友会ではこれまでも景況調査や経営環境レポートなどを実施して、会員企業の現状や生の声を拾い上げてきました。今年度は、一層支部の皆さんや各委員会・部会の協力を得て回収率を上げ、外部の力を借りて取りまとめ、勉強会を実施して委員が分析データを共有して内容を深め、行政との懇談会に活かします。
2. 中小企業憲章・中小企業振興基本条例については、以下の取り組みを進めます。
 - ・ 6 月 5 日（火）中同協・中小企業憲章キックオフ集会への参加
 - ・ 中小企業振興基本条例がまだ制定されていない 12 市町村での制定を目指して、各支部に対して側面からフォローを致します。

〔個別方針〕 その4－経営労働・共同求人・共育・三位一体経営推進協議会

◆ 経営労働委員会

『労使見解（人を生かす経営）の精神をベースにした理念経営の実践が明るい10年後を創る』

今期は原点に立ち返ります。まずは経営労働委員会が中心となり労使見解（人を生かす経営）を同友会活動に浸透させることを意識していきます。各支部から2名の労使見解（人を生かす経営）浸透メンバーを選抜し、組織化して各支部の活動に労使見解（人を生かす経営）を意識させていきます。

課題①②③⑤⑥ 経営指針成文化と実践運動を引き続き推進します。

労使見解（人を生かす経営）の精神をベースにした経営指針の成文化と実践が、同友会で成文化する経営指針の特徴であり同友会運動の一番の基礎の部分と考えます。

「経営指針を創る会」受講生の早めの把握と、受講推進を支部と連携していきます。

毎月の委員会にある「人を生かす経営談義」を、受講OB実践の背中を押す場にしていきます。全国の委員会の場合や全国大会に、より沢山の委員会メンバーと参加できるよう声かけしていきます。三位一体経営推進協議会、共育委員会、共同求人委員会と労使見解（人を生かす経営）の重要性を確認して、富山同友会らしい富山同友会の会員に合った、地に足のついた「三位一体」を創っていきます。

課題③⑥ 良い「働く環境」づくり無くして、経営指針の健全な実践はありません。

定期的な就業規則づくり、賃金や時短についての勉強会や例会を通して「労働委員会」の役割も果たしていきます。また共育委員会、共同求人委員会と連携して学んでいきます。

「労働委員会」も意識した組織づくりにしていきます。

「社員は真の経営のパートナー」を、実践を通して追求していきます。

◆ 共同求人委員会

同友会が掲げる三つの目的は、「よい会社を作ろう」「優れた経営者になろう」「よい経営環境を作ろう」です。また、強靱な経営体質を作る同友会活動として、「経営労働委員会」「共同求人委員会」「共育委員会」があり、三位一体の中核をなす柱として存在します。共同求人委員会は先人の築いて下さった実績を基に、三位一体活動の中心を担い、地域の未来を創り、人を生かす経営の先頭に立つ委員会として、活動していきたいと考えています。

共同求人活動とは単に自社の人手不足を補う採用の一手段ではありません。ここで採用した社員が豊かな人間として育ち、一人ひとりの社員の成長を通して、明るい地域・社会が創られていくという未来に通じる素敵な活動です。そのために我々が果たす役割は大きいですし、もっともっと素敵な活動にしていけると思います。共同求人委員会に参加できることを誇りに思い、皆さんと共に積極的に活動してまいります。

＜人材採用活動について＞

「共同求人」の理念に忠実に、また、これまでの学校や地域との信頼関係に基づいて、同友会会員、共同求人参加企業へ発信し、理解を広げる活動を行っていきます。

売り手市場の中、学生たちの合同企業説明会離れ（不十分な企業研究やネット中心の就職活動など）は今後も進むと考えられます。そこで、学生の動向や学校の取り組みの変化を見極めながら、学校との連携をより重視した活動を展開していきます。このような時代だからこそ皆でアイデアを出し合って、学校や学生に対して、“地域をつくる中小企業で働く意義”“中小企業の良さ”を理解していただくことが大切だと思います。新しい考え方、やり方を模索しチャレンジすることが必要です。委員会として積極的かつ組織的に、また委員一人ひとりが自主性を発揮して取り組みます。

＜人材育成活動について＞

三つの委員会活動を通して、経営指針書を成文化し、新卒採用を行い、社員研修を積極的に行う会員が少しずつ増えてきました。共同求人では、＜採用と育成＞を一体のものとしてとらえ、新入社員が、社会人・企業人としての基本的な考え方やマナーを身につけるための基礎教育を、共同の力で行っていきます。

研修にあたっては、参加企業が主体的に関ることが重要で、企業としての事前準備や経営者（経営幹部、担当者）も参加して共に学ぶことが大切です。また、研修内容については、常に改善・見直しを行ってより充実した内容になるよう努めます。さらに、会員経営者が講師となったり、グループ討論に参加したりして、経営者が新入社員の目線で関わることを通して、学んでいきます。このような人材育成を重視する姿勢は、学校や父兄・学生との信頼関係の醸成につながり、“人育ての場としての中小企業”の役割を果たしていきます。

＜総務活動について＞

優れた人材採用の原点である“魅力ある企業づくり”の活動を進めます。やりがい、働きがいを実感できる社風づくり、労働環境整備などを積極的に学びます。

＜その他＞

- ・同友会運動の中の共同求人活動という原点を基に活動を進めます
- ・開かれた委員会をつくります。運営委員会開催の際は、広く共同求人参加企業にも告知してオブザーバー参加を可能とし、次世代の運営委員候補の発掘・育成を図り、広くアイデアを募ります。
- ・事務局の働き方改革に協力します。委員会としての作業は事務局と連携しながら委員会全体で行うことを基本とし、事務局の負担を減らす努力をします。
- ・運営委員会では、議事の順番を、審議事項、協議事項、報告事項に分類し可能な限り事前配信して、当日の委員会進行をスムーズに行えるようにします。
- ・急な案件は正副委員長で判断するか、緊急で委員会を開催するか、メールやe-doyu内で委員会を開催し、必ずなんらかの形で委員会の協議・審議を経ってから承認されるものとします。

◆ 共育委員会

『人は愛さなければ育たない』ということを再度問い直したい。

まず、同友会運動のなかで、ともに成長していく人材育成の重要性について広く知ってもらいたい。

I 人材育成への考え方を明確化し、内外に啓蒙する。

三位一体を進めるにあたって、経営労働委員会や共同求人委員会と連携し、人材育成について、既存の場（「創る会」、学習会等）もしくは新たな場を設けての啓蒙に努めます。

II 経営者と社員の相互理解の場を作る。

「中堅社員研修」のような中堅層を育てる場を多く設け、経営者に中堅層を愛し育てることに関心を持ってもらうとともに、中堅層にはどのような思いで人材に接しているか、知ってもらいます。

III ニーズを反映した研修の構築

研修参加が低調である理由として、現状の各研修の魅力が十分に会員に伝わっていないと考えられるので、研修内容についての要望等を調査し、ニーズに沿った内容へと見直すことにも着手します。特に「フレッシュマン研修」は、共同求人委員会が所管する新入社員研修からの継続性がうまくいっていないと感じるため、共同求人委員会と連携して、一体的なカリキュラムに編成します。

◆ 三位一体経営推進協議会

昨年同様、「人を生かす経営」の推進を目指します。そのためには三位一体経営が欠かせません。それは、経営指針の実践を意味します。実践するためには、自社の課題を見つけることが先決です。

課題を明確にし、社員を最も信頼できるパートナーと考え外部環境の改善にも取り組むことで強い組織と安定した財務基盤を築くことができます。

経営労働委員会、共同求人委員会、共育委員会の連携で富山同友会の展望を切り開いていきます。

- ・三位一体経営によって黒字企業が増加
 - ・三位一体経営によって学んだことの実践企業が増加、例会報告者が増える
 - ・三位一体経営企業増によって富山同友会が活性化、会員増につながる
- これらのことは、富山同友会 10 年ビジョンにも関わると考えています。

〔個別方針〕 その5－部会・研究会

◆ 障害者問題部会

部会理念「私達は、誰もが共に働く喜びと幸せを感じられる地域社会をめざします」

中小企業家同友会は「人間尊重の経営」を目指す経営者の集まりです。その中で「障害者雇用」は必須と言えます。「人間尊重」の精神だけではなく、「強靱な企業づくり」としても重要性の理解が進んできています。既に中同協をはじめ先進同友会は、「障害者雇用」強化に関する体制づくりが加速しています。もはや「障害者雇用」なしでは「人間尊重の経営」とは言えない機運となってきました。

我々も「人間尊重の経営」つまり「人を生かす経営委員会」と言われる、経営労働、共同求人、共育の3委員会とコミュニケーションをとり、連携を働き掛けていこうと思います。

また、年々盛り上がりを見せています、支援学校の先生や受け入れ企業との意見交換会、仕事見学会の継続と共に、行政や関係機関との連携を強化し、障害者雇用について学ぶ、学習会や例会に取り組みます。

障害者雇用が企業の力になっていく中で、この部会の取り組みが会員企業と障害者の方とを繋ぐきっかけになるよう、本音で語り合い活気のある部会を目指し、部会メンバーの増強（企業経営者、福祉経営者）に取り組みます。

◆ 環境部会

- ・環境経営の取り組み報告は継続します。経営理念の中に環境についての考え方が明記されていても、経営者自身が腑に落ちているか否かで、その後の実践に大きく影響しています。会（会員）にひろげる意味でも、引き続き委員会や支部と連携して実践発表に取り組みます。
- ・環境ビジネスやエネルギーシフトについては、見て・聞いて・触れて自社で何ができるかを考えるきっかけにするため学習会や見学会を開催し、ビジネスモデルの創造につなげていきます。今年度は、農業をテーマに、自産地消、豊かさ、減農～無農薬、スローライフ、健康長寿社会（子供から老人まで）、地域資源を活かした活動、炭焼き、生物多様性などの自然環境教育、歩いて暮らせる範囲（参加しやすい、管理しやすいなど）をキーワードに以下の内容に取り組みます。
 - ①家庭農園から会社農園を目指す（めひの農園の見学）
 - ②地域農園（都市公園や空き地利用して地域の話作り）
 - ③企業農園（品質及び生産性を目指す、野菜工場）
- ・昨年度まで取り組んだパッシブ型ゼロエネルギーハウスは、会員による独自事業へ移行しましたが、状況把握はしていきます。

◆ 女性部会

2015年に「地域に影響を与える女性経営者集団になっている」というビジョンを作りました。

18年度は部会長交代となり、新体制のもと、3か年計画で女性部のベースづくりを行います。

- ①女性部会の組織と部会員の層が厚くなっている（次世代が育っている、仲間づくり）
- ②女性部会員は女性らしい視点で、三位一体の経営の実践をしている
- ③運営委員はもちろん、女性会員や他団体の女性経営者が、同友会女性部に行けば、経営課題の解決の糸口が見つかると言われている（各委員会との連携＜共育、採用、経労、政策、事業継承、障害者など＞）これらの姿を目標とし、今年は継承をテーマに、「外部発信」と「学びの場づくり」の二面で活動します。

「学びの場づくり」 事業継承をテーマに数回シリーズで学習会や例会など学びあう機会を作ります。

「外部発信」他団体や行政などもお誘いし、上記の例会を行います。

創設のおもいや30年の歴史を引き継ぎ、活動内容を内外に知ってもらい仲間を増やしていくために、女性部創設30周年記念誌を発行し、内外に配布します。

◆ 青年部会

- ・ 自社、自身を語り合い、課題発見の機会となる取組を行います。
- ・ 会員相互で助け合うことで、会員同士の結びつきを強めます。
- ・ 青年部の存在意義を問い直し、改善と成長を図ります。

◆ F. P. 部会

課題⑤ 同友会会員自身が地域の小・中・高・大学の授業で講師を務めることを通して、『働くとは』『生きるとは』『地域とは』の理解を深めていきます。また、この視点を踏まえ「何の為に・・・」「誰の為に・・・」を考える事の出来る子供たちを育てていきます。学校の先生や社員を巻き込みながら「地域と共に学び合う場」を創ります。さらに、関わった会員が、社員共育・求人活動の必要性を感じて、採用・共育につながる活動を目指します。

課題⑦ 生徒・先生に関わることで、中小企業の社会的役割や必要性を伝え、地域に必要とされ、無くてはならない同友会の立ち位置を目指します。生まれ育ったこの富山で働ける喜びと意義を子供たちをはじめ地域社会に発信し、次世代の担い手を育成します。また、本活動をより多くの学校に広げていけるように、三位一体の各委員会と協力し、教師経験者を増やし、各学校からの講師依頼の受け皿になれるように体制を作ります。

課題⑩ 「キャリアガイダンス」や「インターンシップ」を通じて、中小企業で働く喜び、地域で働く意義を伝えることで、学校と同友会会員企業との絆を強化し、「頼り、頼られる同友会」創りをすすめる。また、学生が会員企業との接点を持つことにより、企業の理解と採用にもつなげられるようにしていきます。

研究会

■ 未来来TOYAMA（立教大学の山口先生を囲んでの勉強会）

未来来とやま（山口先生を囲む金融・経済・経営の勉強会）は、18年目に入ります。

20年前の“経営フォーラム”で、講演に登壇された山口先生の話に感動をした会員が集い、スタートさせました。多忙な先生に無理を言い、年4回富山へきていただいております。立ち上げ時の情熱を維持発展させ今日を迎えております。変化の激しいご時世です。先生の勉強会で世の中の現状把握・今後の展開の予測が明確になります。学んだことは実践をし検証もします。

■ 戦略的経営塾

モデルとなる参加メンバー企業の実際の戦略実現のために、塾生たちが知恵を出し合うアクティブ・ラーニングの取り組みをはじめて3年が過ぎました。モデルとなる企業は年々、目標としていた収穫物に確実に近づいています。一方、支援する側の企業においては、まだ十分な手ごたえを得られていないケースも目立ちます。今年度はこうした現状をふまえてこれまでの取り組みを進化させ、PDCAを徹底していきます。戦略的な思考に基づいて再現性を意識し、互いに切磋琢磨し合って、塾生全員がそれぞれに望む収穫物を得られるよう取り組んでいきます。

〔個別方針〕 その6－全県行事・全国行事・役員・事務局

◆ 全県行事

全県行事は、全会員を対象に交流を深める場です。参加する一人ひとりの会員にとっては、多くの仲間との交流を通じて、支部・委員会・部会ではできないスケールと広い視野から学ぶことができます。今年の主な全県行事は、次の通りです。

1. とやま夢づくりフェスタ 〔2018年9月29日（土）－30日（日）〕

会員企業が自社アピールを通じて企業連携、商品コラボを目指すと共に、社員の家族や地域生活者に対しても自社の技術・商品に対する理解を深めてもらいます。さらに学校・行政・金融機関との連携を模索する機会とします。

2. 2019新春のつどい 〔2019年 1月19日（土）〕

新会員を温かく迎え、会員相互に新年の決意を交流することで、心新たに1年の元気なスタートを切る機会とします。

3. 第29回経営研究フォーラム 〔2018年 月 日（ ）〕

経営研究フォーラムは、経営課題を取り上げて展望を切り開く学びの集大成として、①全県レベルでの学びあいと交流 ②分科会での質の高い論議 ③準備過程での論議の積み上げと共同作業が連帯感を生み会活動の前進に貢献 ④グループ長の養成などを通じて積極的な会員を生み出す ⑤自治体、マスコミなど対外的アピールの機会 ⑥会員増強の機会です。

より多くの会員やゲストが参加しやすく深く学べる内容となるように準備を早めに進めます。

4. 第40回定時総会 〔2019年 4月23日（火）〕

年々の同友会活動・運動の到達点や成果・教訓を確認し、新しい年度の企業経営と同友会の発展方向や活動内容を示します。

◆ 全国行事

中同協が行う全国的な行事は、各地の優れた実践を集大成として一カ所に集め、さらに大きなうねりに高め、また各県同友会のうねりにして返す役割を果たしています。全国的な行事に参加する一人ひとりの会員にとっては、全国の志を同じくする仲間との交流を通じて、一同友会ではできない大きなスケールと広い視野から学ぶことができ、経営と同友会に元気を生み出します。

全国・中日本ブロック行事等年間予定表

① 中日本ブロック代表者会議	三重	2018/05/24-25
② 中小企業憲章キックオフ集会	東京	2018/06/05
③ 第21回女性経営者全国交流会	埼玉	2018/06/21-22
④ 中同協第50回定時総会	宮城	2018/07/05-06
⑤ 2018組織強化会員増強全国交流会	東京	2018/08/24
⑥ 第6回人を活かす経営全国交流会	宮崎	2018/09/13-14
⑦ 第46回青年経営者全国交流会	沖縄	2018/11/29-30
⑧ 第49回中小企業問題全国研究集会	長崎	2019/02/21-22

◆ 役 員

- 役員は、「創ろう！自社と地域の10年ビジョン」の実現をめざし、会員との関わり合いを深め、仲間づくりや活動づくりの率先垂範に努めます。
- 同友会運動の視点から、担当部署以外の活動についても主体的に関わり、活動のPDCAのサイクルを絶えず確認しながら、活動の相互連携や補完し合うことで個々の企業強化に結びつけ、点から線へ、線から面に広げ、地域経済の活性化の実現をめざします。
- 第7次中期ビジョン検討の1年として役員が一丸となり、年度方針と一体に捉えて運動（活動）を展開していくことが必要です。
- 理事は、年に1回は全国行事に参加します。

同友会の役員会（理事会、支部、委員会など）は、三つの目的の実現をはかる同友会運動を推進し前進させる責任を持っています。

定例の役員会においては、情勢問題や経営課題をまず取り上げて、企業づくりをどうしていくかを役員会の中心課題にしていくことが一番大事です。会の運営をも企業経営とリンクさせて、企業づくりが役員会で話されることが会員の企業づくりや同友会づくりをすすめる力になります。

（同友会役員のテキスト「同友会運動発展のために」より抜粋）

◆ 事務局

同友会運動を担うパートナーである私たちは、歴史や理念、情勢について積極的に学び、会員はじめあらゆる人々との関わりを通して自らを高め、「人を大切にする社会づくり」の一翼を担います。

- ◎ 会員との関わりを強め活動に生かします（企業づくり）

「事務局は、会員とともに同友会運動を進める主体者」と位置付けられています。

厳しい経営環境の中で奮闘している会員企業の実情を知り、会員の声を謙虚に受け止め活動に生かしていきます。

- ◎ 政策・調査活動を担える力量を磨きます（地域づくり）

企業づくりと地域づくりは一体の関係にあり、地域づくりを支える政策・調査活動はますます重要になっていきます。各方面から同友会が当てにされる場面もさらに増えてきました。そうした期待に応えられるよう事務局としての力量を磨きます。

- ◎ やりがいが感じられる強くて優しい組織をつくります（同友会づくり）

会員と一緒に仲間づくりに取り組み、新しい仲間を迎える喜びを味わいます。また、誰もが働きやすい事務局を目指し、就業規則や各種制度を研究し整備します。

富山県中小企業家同友会組織機構

